（昭和七年十月十日第三種郵便物認可）

新京日日新聞

夕刊　九月二十日（木）

本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 廣告料 普通一行一圓三十錢 特別同二圓五十錢

發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

事變三周年を迎へて（三）
ずん〳〵膨脹する諸施設事業費
滿鐵が惱んだ水道の施設

附屬地の巻

そこで一般施設方面の擴充はどんなものだつたか、調べて見ると滿鐵が附屬地內のために入揚げた事業費は昭和六年度三十九萬六千圓、七年度四十一萬圓、八年度は一躍して百八十三萬圓、本年度は水道施設も大体完成したので百五十萬圓內外ですむだらうといはれてゐるが、何といつても水道施設と道路改修が最も多く、殊に水道施設には滿鐵も随分頭を惱ましたものだ、その結果は第四、第五水源地の築造となつたが、滿鐵がこれらのために要した金は、七八九年度を通じてざつと百五十萬圓にも上つてゐる

▽……△

序でに人口とゝもに給水量その他を見ると給水戸數は昭和六年度三千七百四十五戸、七年度四千六百四十三戸、八年度六千六百七十九戸、更に現在では六千八百六十二戸に增加してゐるが、給水量も第四第五水源地の完成で漸次急增して、昭和六年四七十六萬九千九百八十八トンが、七年度百四萬五千三十八トン、八年度百四十四萬三千九百六十四トンといふ增加率で現在では事變前に較べて約三倍に當る實に素晴らしい躍進振りである昨年今頃の約半分の給水能力しかなかつたものが、この超躍進でどうにか水飢饉から免れ得たといふものだ

▽……△

かう書いてゆくと、果てしがない、どこへ行つても擴充また擴充、發展につぐ發展の連鎖であつたが、附屬地はこの位に止めるとして最後に學童の激增振りを參考に供して筆を止めやう、各中等學校はさて置き室町校が事變前の六年八月七百八十二名が七年八月千五名、八年八月千六百六十七名、西廣場校は六年八月五百九十八名から六百七十九名へ、更に八百五十四名だつたが、現在では兩校とも千八百名を突破したほどの盛況で、兩學校とも特別教室はおろか講堂までも教室に模樣換へして使用してゐるが之がため目下第三第四兩小學校の新築に酣である、公學校普通學校各中等學校もそれほどでなくともどこともすし詰めには變りなく、殊に滿人兒童を收容する公學校では日滿親善が反映して、その入學兒童も定員百二十名の三倍にも達し、多數入學難にあえいでゐる有樣である（此項完）

營口紡績
本年末工場竣工

既報朝鮮紡績と合同して二百五十萬圓の新資本の下に甦生を期する營口紡績會社は目下新機械を大阪と英國とに約百萬圓の註文を發し、近く到着するが、更に工場も敷地三萬坪を得て着々建設中で本年末には竣工する事となつた、竣成の曉は年產五百萬圓の生產能力を有するものであるといはれてゐる

高粱工業株式會社
十月初旬創立
東京で創立總會開會の運び

豫て懸案の高粱工業株式會社は來る十月初旬東京に於て創立總會開會の運びとなつた旨當地に入電があつた、同社の事業は從來利用價値の尠かつた高粱殼を壓搾してパルプ板の樣に固め、更に加工して防音用建築壁材を製造するのであるが、資本金五百萬圓、東京に本社を、大阪に支社を置き四平街に工場を設け滿洲の生產品を內地の需要にあてんとするもので新に勃興した滿洲企業として前途を注目されてゐる

本年度新大豆
品質稍々不良
北滿地方の結實狀態憂慮さる

各地で除々に動きだした本年度新大豆の品質を通觀するに今夏の天候不順に患されて含水量不實の率一般に多く混保一等下位程度で初物としては良好でない勿論全般の品質は今後の大量出廻を待たねば判然しないが品質を左右する最も重大な本月の結實期に當つて日照時僅かに九十時間餘（昨年は百七十時間）溫度十三度（昨年は二十度）といふ至滿的な天候不順は品質の前途に多大の不安を與へてゐる、特に結實期の遲い北滿方面の品質は關係方面に憂慮されてゐる

新京院內の大豆初出廻り

新京院內の本年度新大豆初出廻りは既報の如く前年より二日早く新京東方十五支里小河臺產の二石一斗が十六日に出廻つたが、水分は十六%で前年に比し三%五方多く本年の低溫多雨を如實に現してゐる、不實は四、二%で品質は混保一等品下程度である

漸次出廻る

本年度新大豆出廻りは郭家店、四臺子產の營口向一車、埠頭向一車をトップに四平街、開原、新京と順次出廻つてゐるが十七日迄に郭家店二十四車、四平街八車、計卅二車動いたのみで前年の郭家店七十七車、四平街八十二車計百六十九車に比較すれば僅かに六分の一で鐵道關係では一寸拍子拔けの態であるが、之は生育期の水害以來引續いての天候不順によるもので一時的な現象と觀られ、天候回復後の出廻り輻輳を見越して配車に萬遺漏なきを期して萬全の準備を進めてゐる

黑河右岸で
石油礦と炭田發見
奉天拓植協會採金調査班の情報に本部より應援隊出發

在奉天滿蒙拓植協會漠河採金調査本部では北滿アムール河岸地域に於ける採金調査を爲すべく去る七月廿四日津止調査部長、谷田技師長の一行十一名の調査隊を組織して出發したが該地は東西二十五里南北三十五里に亙る大鑛山で今回の調査中同地域內に約五里に亙る石油鑛及露出炭田を發見し目下一行は之れを採掘研究中との情報協會本部に達し奉天本部では俄然緊張して一行と應援警備の爲め十一日午後九時の列車で增井警務班長外四名か食料防寒具等を携帶して勇躍出發したとの事であるが該地はアムール河の沿岸山谷地帶であり且つ滿洲國境なれば種々の意味に於て重大關係があり勞々鑛山の採掘は最も重要視されてゐる

郵便年金令改正

【東京國通】遞信省の郵便年金令中改正勅令案は十八日の閣議で決定されたがその內容は從來掛金が割拂の場合は豫定利率が年五分であつたのを一般的低金利政策の結果これを年四分に引下げ十一月一日から實施される豫定である

正しく進む
日滿兩國の步調（五）
リツトン報告書空文化さる

一例を擧げんに彼の豫算制度及貨幣制度の改革案實現の前途には幾多重大なる障碍存するが如し、諸改革、秩序ある狀態及び經濟的繁榮等に關する根本的政綱は一九三二年に於て存在したる不安擾亂の狀態に於ては到底實現せらるゝを得ざるべしと

リツトン卿の此の見透しは誤りなかつたと言ひ得やうか、事變三年後の截然たる事實は彼の打診に強硬に抗議しその修正を要求するであらう、吾々は先づリツトン報告書に絕望的に記述された重要な部分に就て檢討するも、第一に經濟的繁榮の基礎的事業たる幣制統一事業は回收豫定期日たる康德元年六月三十日現在迄に舊紙幣回收額一億三千二百三十五萬餘圓、流通總額の九三、一パーセントの回收に成功したといふ好成績を示した

また流通券の一種たる私帖は一時一千二百萬圓程度の流通があつたが本年一月以降積極的整理に着手した爲上半期中に全滿に亙る整理を完了した

しかも市場に於る中央銀行發行紙幣（即ち國幣）の信用は愈々昂まり、今や東北政權時代に屢々出現された紙幣濫發による紙幣價値の慘落、それに伴ふ經濟界の大恐慌といふ如き惡政はその跡を完全に斷つた

第二に國家財政について見やう、先づ建國年度以來の豫算決算を一瞥するに

△建國年度歲入歲出決算

歲入
經常部 九百萬八百二十一元六角五分
臨時部 一千二百二十三萬六千四百七元七角四分
合計 二千百二十三萬七千二百二十九元三角九分

歲出
經常部 一千六十一萬五千百七十元
臨時部 七百五十八萬二千六百九十四元四角一分
合計 一千八百十九萬七千八百六十四元四角一分

歲入歲出差引三百三萬九千五百六十四元九角八分の剩餘を生じた、該剩餘金は之を大同二年度の歲入に繰入れた

△大同元年度歲入歲出決算

歲入
經常部 一億八百四十三萬一千二百三十二元七角六分
臨時部 四千四百四十九萬一千六百九十七元一角
合計 一億五千二百九十二萬二千九百二十九元八角六分

歲出
經常部 八千九百九十三萬六千七百七十二元九角八分
臨時部 三千九百六十九萬八千百三十一元七角三分
合計 一億二千九百六十三萬四千九百四元七角一分

右の如くにして租稅其他の增收による歲入超過額一千四百九十六萬五千九百二十九元八角六分、豫算不用額五百二萬八千六百三元一角四分にして歲計純剩餘金は一千九百九十九萬四千五百三十三元である

＝港の彼女達＝
18 檻の中（十一）

最後の切札八枚（合作）
□□女八人感激時代□□
（禁上映上演轉載）
柳　咲子……峯　吟子
大林梅子……若水絹子
澤　蘭子……夏川靜江
木下双葉……飯田蝶子
（插畫　大附彥丈筆）

『困つたな、困つたな。僕達は今晩、婚約したのに、婚約したばつかりなのに、駄目だ〳〵、ねえ、旦那、僕達は、あの女は……』

男は、鐵格子の向ふの女の聲をきくと、傷ついた獸の樣に猛り立つた。

『まあ、さう昂奮せずともよいまあ〳〵話は分るんだから』

花田巡査がにや〳〵笑ひ乍ら話してゐる、男は必死に、地團駄踏んで、

『だつて、だつて、これが昂奮せずに。……僕達は目茶苦茶だどうしよう、どうしてくれる』

『まあ〳〵、待つてろ君等が婚約なら婚約でいゝぢやないか。そんなら直談して貰へるだらう

それにしても可笑しいぢやないか、何時と思つてる、もう二時半を廻つてるんだぜ、この夜更けに……』

『だつて、僕等は夫婦約束したんだから、今晩、あの人が、やつと承知してくれたんだから……頼みます、頼みます。明日は店に出なくつちやあ、首になります、一生のお願ひです……』

『フン、しかし、さう言つちやあ何だが君位の身分で、ダンス場に出入りするなんて少しおかしいぢやあないか。隨分金も要るんだらう、それにダンサーを相手に、深夜往來を徘徊するなんて、それはダンサーも立派な商賣には違ひないんだが……』

花田巡査は、それが癖らしく靴をくん〳〵鳴らし乍ら、大股でゆつくり、留置場一杯步き廻り乍ら、相手になつてゐた。留置場の各房から、ひそ〳〵話が漏れてくる。みんな目がさめて了つたのだ。

『誰だッ、どの房だッ、ひそひそ話をしてゐるのは』

花田巡査は、口ほどにもなくにや〳〵しながら、佩劍で、各監房をガチヤン〳〵叩き乍ら怒鳴つた。

『寢たくない奴は、出て來い。相手になつてやる』

相手になつてやる、とは、ぶんなぐつてやる、といふ意味だ一齊に靜かになつた花田巡査はそこで、また男に話しかける。

『それあ、ダンサーも立派な商賣だ、しかし、深夜男を連れて徘徊するといふからには、そこに何かの意味がある、たとへないとしても、さう睨まれる。それでも仕方があるまい』

『あの人は、ダンサーぢやあないんです。決してダンサーぢやあないんです』

『だつてダンサーぢやあないかそれとも淫賣かい』

『違います、歷乎とした良家の子女です。ダンサーなんかと斷然違います』

『あはゝゝゝ、ダンサーなんかと斷然違ふかも知れないが良家の子女かも知れないがね……』

『旦那冗談仰有つちやいけません』

『何が冗談だ、生意氣な』

花田巡査がいきり出した。自分で、からかい乍ら、怒り出す——長い間、かうした不自然な留置場の中の生活を續けてゐると、花田巡査の樣な樂天的な性格の男でさへ、いつのまにか、神經衰弱となると見える。

『なめやあがつたな、此のニキビ野郎。第一、君は生意氣だ。そのへナ〳〵した、吹けばとぶ樣な男の癖に、ダンス場に出入する柄ではないぢやあないか』

銀翼五キロに亘り 空の賓客晴れの都入り
ドット擧がる歡聲に湧きたつ國都
新京の空を壓す數十機

今日ぞ我が海軍の精鋭機訪滿飛行編隊が國都の上空に飛來する日だ、南の空を見凝めて機影を求める市民の胸は高鳴る、午後三時西公園には早くも滿洲空前の壯觀を見んと續々と參集する人で一杯だ、三時卅五分「來たつ！」南の空に現れた蜻蛉群は刻々と市民の上空へ近づいて來た、指揮官赤城艦長塚原大佐搭乘の〇〇機を先頭に〇〇〇機、蜿々五キロに亘る編隊單縱陣は嚠々たるプロペラーの爆音を晴朗な秋空に反響さして銀翼が燦然と輝いてゐる、編隊は駐滿海軍部上空を通過、西公園、大同廣場、宮內府、鐵道北の空路をとつて三時四十五分飛行場に着陸、日滿兩國親善史に劃時代的な我が聯合艦隊海軍機訪滿飛行は豫定の如く空の都入りをした、飛行場には駐滿海軍部、關東軍、滿洲國の顯官並に在京各學校生徒兒童が參集、空の勇士を迎へて晴れやかな歡迎が行はれた

壯烈！海軍獨自の 高等飛行展開

西公園と宮內府上空における源田大尉の指揮する艦上〇〇機三機の高等飛行は急上昇、急降下、垂直、旋回、巴宙返り編隊、宙返り上昇反轉、橫轉地上掃射等悠々わが海軍獨自の飛行術を展開して地上の市民をあつといはせた

建設狀況を視察し 皇帝に謁見

十九日夜入京した末次司令長官一行は二十日午前八時十分駐滿海軍部大島參謀長の案內にて綠深き新京神社に參拜、八時半國都建設局樓上に上り結城總務處長の説明にて約二十分建設狀況を視察後、謝外相、張軍相を訪問、十時十五分には國務院に鄭總理を訪問挨拶を交して後十一時宮內府東朗殿に參入した、沈宮內府大臣、張軍政處長、工藤侍衞官等を隨へられた皇帝陛下には末次司令長官に固き御握手を賜つた後一行に優渥なる御言葉あり、一同一旦退下、正午より西便殿において午餐を賜つた

末次長官 けふの日程

十九日夜入京した末次大將一行二十日の日程左の如し
午前八時十五分新京神社參拜八時半國都建設狀況を視察し同九時菱刈軍司令官、同九時半謝外相、同十時張軍政相、同十時十五分鄭總理を歷訪後十一時宮內府に於て皇帝に謁見、午餐を賜り午後三時より高等女學校に於る講演會に臨み、午後四時よりは日滿合同主催の西公園に於る歡迎園遊會に列席し六時よりヤマトホテルに於る菱刈軍司令官の招宴、八時駐滿海軍部司令官の晩餐會に列席する

空の勇士達 市中見物

晴れの新京入りをした聯合艦隊空の勇士達一行は日滿官民の大歡迎裡に着陸し終ると直ちにバス十台に分乘して市中見物のうへ、滿洲國皇帝にも謁を賜はり、午後四時西公園に於ける歡迎園遊會へ向つた

艦隊日和に惠まれ 渦卷く歡迎陣
飛行場一帶見物人で大賑ひ

けふ世界海上の覇者、わが聯合艦隊の滿洲國正式訪問を迎へる國都新京は朝來秋晴れの艦隊日和に惠まれて、市中は輝かしい海軍色に彩られた、午前十時から西公園に於ける軍樂隊の大演奏を聽いた各中等學校、各初等學校の生徒兒童を始め日滿官民の歡迎の人々、いづれも新京飛行場さして蜒々長蛇の陣をつくつて押しかける、この日から新京時局後援會では飛行機着發に際して休憩所を特設し、また艦隊一行歡迎のため驛前、地方事務所前、ホテル前の三箇所にも同樣休憩所を設けて國防婦人達が白い制服姿も甲斐々々しく、茶菓の接待を始めたが、どことも大入りで、勇士達の面上いづれも朗かな笑ひが浮ぶ、かくてこの日終日市中は到るところ海軍景氣渦卷き稀に見る活況を呈した

艦隊員一行 新京發着時刻

聯合艦隊司令長官外發着時刻左の通り
△九月廿日前六、〇〇着視察隊三六六名、同七、〇〇着飛行機地上作業員（哈爾濱班）六九名、同八、三〇發同、同一一、三〇發視察隊A組三六九名、後一、四五着飛行機七五台二〇三名、同一〇、〇〇發軍樂隊三七名、同一一、〇〇着視察隊B組八三名
△九月廿一日前七、三〇發幕僚四名旅客機にて哈市へ、同八、〇〇發飛行機七五（ハルビンへ）二〇三名、同八、三〇發司令長官一行中の幹部一九名、同一一、三〇發視察隊B組八三名、後一二、〇〇發兩長官幕僚二名旅客機
△九月廿二日前一〇、〇〇着飛行機七五台二〇三名、後一、〇〇發同、同三、二五着兩長官及幕僚其他二六名同四、三〇發司令長官一行四九名、同一〇、〇〇發地上作業員（新京班）五七名
△九月廿三日前六、〇〇着視察隊D組三三五名、同一一、三〇發同同、後三、二五着地上作業員（哈爾濱班）艦上五五名、同一〇、〇〇發同同
△九月廿五日後三、二五着地上作業員（哈爾濱班）水上

明朝哈市へ出發し 廿二日再び飛來
兩長官は正午旅客機で出發

滿洲國訪問のわが艦隊飛行機〇〇〇機は別項の通り二十日午後三時四十五分晴れの新京入りをしたが、一行は明二十一日午前八時發、ハルビンを訪問し、二十二日午前十時着再び新京に飛來し午後一時發靈京の豫定である、なほ兩長官を除く幹部一行十九名は二十一日午前八時發、末次、高橋兩長官および幕僚二名は同日正午飛行機でいづれも赴哈のうへ兩長官および幕僚その他二十六名は二十二日午後三時二十五分着、一行四十九名となつて同日四時三十分發歸路につくはずである

航空基地部隊 ハルビンへ

海軍航空基地部隊龜井少佐以下五十名は廿日午前七時來京同八時卅分ハルビンへ向つた

上空は廿米近い烈風 豫定を變更
塚原大佐出發に際し語る

【大連國通】滿洲國訪問飛行に海軍機〇〇機の大編隊軍を率いて壯途に上つた聯合艦隊第一航空戰隊赤城艦長塚原大佐は出發に際して語る

天氣晴朗なれど風強く空は二十米近い烈風が吹いて居るから豫定を變更して大連及び營口の上空を飛ばずに奉天に直行することにした搭乘者一同はこの輝しき訪問飛行の日を待つてゐたのだ、搭乘者〇〇名のこの嬉しさうな顏を見てくれ、新京宮內府上空通過の際は空より皇帝陛下に御挨拶申上げるが畏れ多くも陛下には御庭に御出ましになつて御覽遊ばされるとの事で全く一同も光榮だ大に元氣でやるぞ

乘組員續着

聯合艦隊乘組員A組赤城副長石井中佐以下三百六十九名は二十日午前六時四十分大連より來京した

軍樂隊の演奏に 兒童大喜び

地方事務所、總領事館、新京特別市公署主催の海軍々樂隊演奏在京各中、初等學校生徒兒童慰安演奏會は二十日午前十時から秋晴れの西公園トラックで催された、六ツ、七ツの幼稚園々兒から商、中女學生徒にいたるまで一萬數千に一四名、同四、三〇發同同

因に司令長官一行の新京以後の日程は未確定である

の僕る日滿生徒兒童は嬉々として會場に押かけた、兎と龜浦島太郎・鳩ポッポ等々園兒は樂隊に合せて合唱するなど和氣あいゝゝのうちに午前十一時三十分終了した

海の勇士を迎へて けふの園遊會
參會者千名に上る盛況

聯合艦隊司令長官末次信正大將の講演會は新京時局後援會並に海勇會主催の下にいよいよ二十日午後三時から新京高等女學校講堂で開催されたが講演會に引續き午後四時から西公園海軍記念碑前で總領事、特別市長、地事所長主催の歡迎園遊會が盛大に開催される來賓側は飛行機搭乘員同地上勤務員、軍樂隊、司令長官一行と同行した艦長以下幹部ら四百名以上にのぼりまた官民側の參會者約五百名といふ盛んなもので、定刻一般入場、主催者側の挨拶について來賓代表の謝辭があり準備された模擬店が開かれ第一料理店組合三業組合その他の紅裾連の余興、滿人の高脚踊手品その他、滿洲國軍樂隊の演奏などあり午後六時ごろ解散の豫定である

都入りの 末次長官一行

我が無敵艦隊末次長官一行は昨夜七時三十分、日滿官民歡迎のドヨメキの中に晴れの都入りをした、寫眞末次長官（中央左）と出迎への沈宮內府大臣（中央右）その後は鄭總理

豫備會商の劈頭
日本新軍縮案基本原則を提示
十月末から日英米の順に折衝

【東京國通】軍縮委員山本少將は十月十七日頃ロンドン到着、松平駐英大使と充分打合せをなし二十五日頃先づ英國と、次いで米國と會談を開始し、劈頭より新軍縮案の基本原則を提示し、堂々と指導的態度で主張の貫徹を圖る方針である、而して政府の態度が明白な以上會談の成否は豫備會商再開後旬日にして判明すべく、遲くも十一月末迄には最終的態度が決定すべき時期に至る模樣である

練習艦隊異動 司令官には 中村少將

【東京國通】昭和十年度練習艦隊は既報の如く八雲、淺間の兩艦を以て編成されたが、新練習艦隊司令官には現教育局長中村龜三郎少將が轉補される事に決定、これに伴ふ異動を廿日左の如く發令の筈である

海軍省教育局長 海軍少將 中村龜三郎
補練習艦隊司令官

橫須賀鎭守府參謀長 海軍少將 男爵 園田實
補海軍省教育局長

海軍大佐 井澤春馬
補橫須賀鎭守府參謀長

練習艦隊司令官 中將 松下元
補軍令部出仕

巡查部長以下の辭表 續々と警務係へ提出
悲憤の氣漲る大連警察署

【大連國通】大連署勤務の巡查部長以下の辭表は十九日より今朝にかけ各個別に續々警務係に提出されつゝあり、署內では物々しい空氣に覆はれて居る、一方內勤巡查外勤巡查は今朝八時より講堂に集合既に辭表を提出せる幹部に殉ずべしと全署員は個別に辭職願を提出するに決定し、署內には悲憤慷慨の氣が滿ちて居つた

人事問題は まだ考へてゐない
＝岡田首相は語る＝

【東京國通】關東廳員の動搖に對し岡田首相は左の如く語る

感情問題と、斷片的に改革案を理解せるため起つたもので、すべてが明瞭となればおさまるだらう、改革案では命令系統が簡單となり在滿行政が强化される譯で關東廳が憲兵警察になるとの疑惑は全く杞憂である、人事問題等は考へてゐない

その日く

海國日本の精鋭堂々入京、末次長官不動の決心を聞き握手の必要を說く～～

□

然り一九三五、六年の危機は日本の危機たるに非ず、東亞全局の危機

□

ソ聯軍滿洲國內に侵入軍事的施設をなす、默つて居ればどこまでつけあがる氣か

□

在滿機構改革問題で大連側なほ濟しとせず運動、物はあきらめが肝心

□

機密を賣り步く男が引かれた調べて見れば元關東廳警部さん

人事往來

▲青木重臣氏（關東廳警務課長）十九日午後四時三十分發大連へ
▲刑士廉氏（新京地區警備司令官）十九日午後五時發吉林へ
▲末次大將（聯合艦隊司令長官）以下三十八名十九日午後七時三十分着
▲張景惠氏（軍政部大臣）同上
▲遠藤柳作氏（國務院總務廳長）同上
▲岡部子爵（貴族院議員）二十日午前七時着奉天から
▲川村兼五郎氏（東京小學校長）以下十三名二十日午前六時着奉天から同日午前八時三十分發吉市へ
▲田中政治氏（新潟縣會議員）以下九名同上
▲緒方大象氏（長崎醫大教授）二十日午前九時發大連へ

團体

▲海軍飛行基地兵六十二名二十日午前八時卅分發哈市へ
▲新潟縣會議員七名同上
▲新潟教育會員十三名同上
▲東京小學校長團十六名同上
▲姬路師範學生百十名同上
▲聯合艦隊員三百六十六名二十日午前十一時三十分發大連へ
▲海軍々樂隊員三十五名二十日午後十時發大連へ

海外經濟

倫敦銀塊 二片一六分一三
同先物 二片八分七
紐育銀塊 四九仙二分一
孟買銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

▲米棉
現物 [illegible]
十月限 [illegible]
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
三月限 [illegible]
五月限 [illegible]
七月限 [illegible]

▲上海標金
本日後場休會
昨日前場 [illegible]

▲上海日本向 [illegible]
▲上海倫敦向 [illegible]
▲上海紐育向 [illegible]
▲大連金鈔票 [illegible]

各地市場

▲大連上海向 [illegible]
▲大連煙台向 [illegible]
▲大阪株式 大株新 [illegible]　同紡新 [illegible]　鐘紡新 [illegible]　同新 [illegible]
▲同短期 大新 [illegible]　鐘新 [illegible]　東新 [illegible]　日産 [illegible]
▲大連株式 五品 [illegible]　先物 [illegible]　豆新 [illegible]
▲奉取 取新 [illegible]　滿新 [illegible]　東新 [illegible]　大産 [illegible]　日新 [illegible]　鐘鐵 [illegible]　滿鐵 [illegible]
▲大阪三品 [illegible]
▲仁川期米 [illegible]
▲大連特產 [illegible]

新彩社（廣告）

新京市況

[illegible]

公債現物仲値表

[illegible]

全國中等學校長 けふ臨時總會開く
賀表、感謝文を決議建議案討議
皇帝陛下に拜謁

十九日來京した全國中等學校長團は二十日午前八時から新京商業學校講堂において臨時總會を開催、馬上團長開會の辭を述べ、議長に大連第二中學校長丸山英一氏を

=推薦=次で菱刈關東軍司令官、王炎文教部秘書科長、林滿鐵總裁(代理秋山視學)三氏の祝辭あり、直ちに協議に移つた、先づ皇帝陛下に賀表捧呈の件、關東軍司令官に對する感謝狀呈上の件を諮り左の賀表、感謝狀を滿場一致可決、引き續き協議に移り、西日本中學校から提案された

一、教育上日滿親善を促進すべき良案如何

一、滿蒙に發展せんとする中學校卒業生に適切簡易なる指導機關の設置をその筋に建議すること

の二項について種々討議の結果委員附託、議長から十五名の委員を指名し委員は本日正午から大陸春で開かれる文教部招宴の席上で對案を作成してこれが審議は午後商業學校における懇話會の終了後行ふことに決し午前九時三十分閉會した、一行は十一時十五分軍司令官を訪問感謝狀を呈上十一時三十分から皇帝陛下に拜謁を賜り賀表を捧呈した、

=午後=は大陸春の宴會終つて二時から商業學校講堂で岡村參謀副長、鈴木關東軍參謀、鄭總理の講話あり、日程を無事終了した

賀表

恭しく惟ふに 大滿洲國 皇帝陛下 英明の天資を以て 夙に民衆の重望を負ひ 東洋古聖の王道を紹述して滿蒙新興の國家を經綸し 兇惡を掃蕩し 良善を綏撫し 文教を弘め 產業を奬め 同族兄弟の親を結んで 以て東方和平の丕基を定め 機會均等の誼を宣べて 以て人類共榮の樂土を開きたまふ 是に於てか四國狀安定 五族德に懷き 四境化に嚮ひ 黎民於變り時れ雍ぐ 乃ち天命に應じ 群情に順ひ 宸極に御して以て乾綱を綜べ 萬世無窮の大業を創め 千載不拔の宏謨を建て 聖德愈々盛にして 國勢益々振ふ 寔に曠古の偉蹟 宇內の倶に贍く所 況や東隣盟邦の民に於てをや 今次弊國中學校長百七十八名 陛下の輦の下に相會し 研究討議以て日滿青年親善提携の方策を講ず 蓋し惟ふに敎化は王政の根本 民族消長の繫る所 今や時 東亞の隆運に屬し 兩國永遠の大計 更に青年の協力奮勵に待つ者あり 是の時に方り 敎育の力に賴つて克く兩國青年の精神を結合し 東洋文化の眞髓を發揚し 以て王道の惠化を羽翼し 人類の福祉を億萬斯年に增進するもの 是れ實に某等の竊に自ら期する所 某等草莽の微と雖 幸に生を昌代に享け 職を風敎に奉ず 豈敢て勉めざらんや 玆に會合に當り 敢て微を布き 仰いで 聖察を邀む 某等遠く來り 陛下の國土を經歷し 親しく大滿洲國興隆の盛況を睹て 欣慶措く能はず 謹んで頌辭を 闕下に捧げ 恭しく 聖運の無疆を祝し奉る 誠恐誠惶頓首頓首

康德元年九月二十日
昭和九年九月二十日

關東軍に對する感謝文

夫れ滿洲は我か接壤の域にして嘗て二十萬生靈の屍を埋めたる地我か帝國と不可分の關係に在り然るに舊東北軍閥の驕恣暴戾なる恩を忘れ義に背き事毎に我に對して逆意を挾み狂言暴行飽く所なく遂に柳條溝に於て我か南滿鐵道を爆破するに至れり此の時に當り我關東軍は神速變に應し克く機先を制し疾風迅雷一擧にして驕兵を屠り巢窟を覆し以て敵の野望を粉碎し復ひ起つ能はさらしむ爾來寒暑三周歲斷乎たる決意能く國論を統一し內外の障碍を打開し神謀鬼算櫛風沐雨先に三省を淸掃して滿洲國の獨立を助け次いで熱河を平定して東亞の全局を控制し終に帝制を確立し國礎を永遠に安固ならしむ撥亂反正の功既に成り王道德治の化將に四表に光被せんとす其の影響する所之を內にしては國民の惰眠を破り擧國一致して國策の實現に邁進し以て皇道を四方に布かんとする氣慨を作興し之を外にしては世界の耳目を聳動し東亞の民族を奮起せしめ列强の均勢一に日滿の聯合を樞軸として上下せんとす斯くの如きは實に我か關東軍將兵各位率先奮鬪の賜にして九千萬國民の擧りて之に倚籍し感謝措かさる所なり我等中學校長恰も彼の記念すへき九月十八日と前後して此の境に臨み會議を開きて新狀勢に適應すへき緊急の問題を議せんとして目のあたり偉業の赫々たるを仰き崇敬の念感激の情交々胸に充ちて言はん所を知らす特に出動以來南戰北伐不幸躬を傷け命を喪ひたる勇將烈士を想ひて凄愴悲痛の感禁し難し今や蘇聯情僞百端北方漸く多事ならんとす庶幾くは軍司令官閣下を首めとして全軍將兵各位愈自愛加餐せられ益國威を發揚し國防の萬全を保せられんことを我等又親しく目睹討究せし所を以て子弟の教養に資し以て銃後の任を完うし國家永久の福祉を圖らんことを期す玆に聊か蕪辭を陳へて感謝の を表し各位の武運長久を祈る

昭和九年九月二十日
中學校長協會代表 馬上孝太郎

日滿の機密を賣る男 憲兵隊で取調
興安總署勤務元關東廳警部

最近滿洲國の機密事項が政黨財閥並に某方面に洩れ延びては不純な利を追ふ利權屋の

=策動=となり或は各種利用せらるゝ形跡があつたので過日來新京憲兵隊本部特高課では課員を總動員し懸命の努力を續けたところ端なくも興安總署某科勤務元關東廳警部某が其の所屬する某科に對し上司から下達せられた機密文書を恰も自分が此の種文書を處理する責任があるにも不拘其地位を利用して巧に之を竊取し或は複寫して密送しつゝあつた事が發覺したが特高課では更に某々部日滿高官方面にも此の種醜行があることに目星を附け引續き活動中である、なほ前記某は十八日特高課員の取調べを受けこの外軍部方面の惡口を某々方面に誇張し通信してゐた事か判明し一時

=身柄=は興安總署に引渡されたが前非に官吏としての責任を感じ即日辭表を提出し歸鄕することになつた

官紀上遺憾 春日特高課長語る

右事件に就き春日特高課長は語る

聞く處に依ると他の滿洲國官廳方面にも此の種醜行がある由だが官吏がその取扱に係る職務上の秘密事項を漏洩するが如きは官紀上甚だ遺憾とする處、希は吾人の活動を待つことなく其の司其の司で充分戒しよくして貰ひ度いものである

北滿四十三縣に 農事指導官を派遣

沈滯せる北滿農村の救濟策の一つとして實業部ではかねて北滿四十三縣に農事指導官を常置すべく計畫中であつたが愈々來る十月初旬より實施することになつた、右指導官は農村に於ける產業參事官として農民の唯一の相談役となり農村の指導改革に當り、各機關と協調を保ち農事倉庫金融組合等の設置を爲すと共に、經濟的な指導を與へ、一方近く設立される產業調査局の現地に於ける農業實態調査を秉れ、土地資源の利用、農家の生產、農家の消費經濟、物資の流通を精査し積極的に農村振興に當るもので實業部民政部より八十名の現職員を派遣することゝなつた

無錢遊興の男捕はる

福岡縣粕屋郡志免村字志免東四條通愛國旅館止宿田中義雄こと黒岩鶴之助(二一)は去月二十四日來京前記旅館に止宿してゐたが十八日同宿中の安藤を活動寫眞觀覽におひき出した後同人所有のモーニング一着時價六十圓を竊取、博多屋質店に十五圓で入質しその足で料亭大吉に投宿四十圓の無錢遊興、その他カフェーで無錢遊興をなしてゐたが十九日午後十一時三十分ごろ富士町同仁醫院前で新京署谷本刑事に發見逮捕され取調べたところ同人は奉天齋藤製作所で八百圓を橫領逃走してゐたものである

滿洲國發展の犧牲なら 本人も本望!
營口號遭難藤吉參事官親父談

【奉天國通】去る十七日午前九時半頃撫遠縣城を去る三十支里の地點に於て匪賊のため悽慘なる殉職を遂げた撫遠縣參事官藤吉保家氏(二五)の實父藤吉常與武氏は目下日本赤十字社奉天支部に勤務中であるが令息殉職の報を聽し同氏を紅梅町の私宅に訪へば既に令息の死を知つて居た同氏は愛息生前の事どもをしのびつゝ暗淚にむせびながら左の如く語つた

最初東京に居る長女から『保家が匪賊に殺されたと新聞で見たが本當か』との照會電がありましたので驚愕し、新京に居る次男の保正へ(監察院勤務)に電報を打つて眞實か否かを確かめたりして居ました、ハルピンとの聯絡がとれぬとかで未だ公電には接して居ません、どうか嘘であつてくれゝばよいと思ひます、親の私が云ふのは變ですがあの子は子供の時から非常に快活な性質で人にもよく可愛がられました、最後に奉天へ來たのは今年の八月でした、あの頃から既に此樣なことがあるものと覺悟してゐたものか此寫眞をわざわざ引伸して家に置いて行きました

と今は亡き愛息の寫眞を指しつゝ更に言葉を續け

あの子の母は去年の九月五日死去しやつと先日一周忌を濟ましたばかりだのに又こんなことになり全く不幸の續く時は續くものです、しかし滿洲國發展の犧牲となつて死んだのですからあの子も本望だらうと思ふ

コマ切り事件の小林に死刑

【東京國通】第二の人間コマ切り事件犯人小林利平は十九日死刑の判決を言渡されたが流石に生への執着から耳を蓋ひ法廷でうんうんうめき通した

「一太郎ヤーイ」の岡田かめさん老衰で他界

【高松國通】國定教科書にまで編入されてゐる日露戰爭が生んだ報國美談「一太郎ヤーイ」の主人公香川縣三豐郡豐田村岡田一太郎氏の老母かめさんは老衰病で永い間療養中であつたが、時も時滿洲事變三周年記念日の十八日午前十一時、八十四歳の高齡で眠るが如く他界した

水道洗管で濁水のおそれ 領事館方面一帶に

二十一日午後十時から翌二十二日午前一時へかけて、水道鐵管洗滌のため曙、入舟、梅ケ枝、永樂、老松の各町、領事館構內一帶は濁水するかも知れないから、豫め御諒承置きを願ひたいと水道係からの便り

日滿美術展迫り 畫壇の雄續々來京 愈よ廿五日から開く

今般帝政實施を記念し文教部內滿洲國美術同人院に於ては日本東方繪畫協會と結び日滿聯合美術展覽會の開催を計畫したが、愈々準備がなり九月二十五日より八日間市內西四馬路泰發合百貨店樓上、第二會場新京商業學校に於て開催することに決定した、日本內地に於ては早くよりこの計畫に贊同を得、現代日本畫壇の諸名家百餘人を網羅し各々力作を寄せられたが、更に橫山大觀、小室翠雲、竹內栖鳳、荒木十畝等二十一家より成る獻上作品等もあり、之等も併せて特別陳列される筈である、又滿洲國側に於ても早くより國內作家の作品募集に努めつゝあつたが締切日迄には六百餘點の秀作集り之を十五日より文教部內滿洲國美術同人院に於て參事實厩氏を審査委員長に愼重審査を進めつゝあるが嚴選の結果百余點入選の見込である、之等を日本側出品と合せ展覽する事になるが之は滿洲國に於ては未曾有の

長野縣青年代表 視察團來京

長野縣青年代表滿鮮視察團原隆四郎氏一行二十名は宮崎長野縣屬引率二十一日來京する そのプログラムは

▲二十一日 午後八時十五分 哈爾濱より新京驛着
▲二十二日 新京滯在、城內寬城子、南嶺戰蹟、西公園新市街、宮城、國務院、關東軍、兵營等見學
▲二十三日 午前六時三十分發吉林行、午後九時三十分歸京
▲二十四日 新京滯在、市中見學
▲二十五日 午前九時五十分發公主嶺行 以上

因に一行の氏名は縣人會事務所電話三三五〇へ照會すれば判る

眞言宗管長代理 藤村師來京

和歌山縣左義眞言宗の總本山金剛峰寺では同宗管長代理京都大木山大覺寺門跡大僧正藤村密憧師を滿洲に派し各地の戰跡を巡錫戰病死者の英靈を弔ひ並に駐屯軍の慰問兼ては在滿信徒を教化せしむることゝなつたが同大僧正は十月十日午後來京、當地は三泊の豫定となつてゐる

高女三年二組生 國防献金

新京高等女學校第三學年二組の五十五名はかねて各自の學用品、車馬賃、小使錢などを節約して國防献金函に投入してゐた淨財が七圓になつたのを寬城子、南嶺の激戰記念日である十九日午後代表生徒が擔任教師へ屆け『國防費の一端に充てゝ下さい』と申出た、擔任もこのけな氣な行爲に感激して直ちに關東軍司令部を經て國防献金の手續をとつた

日滿美術展幹部 挨拶に來社

日滿聯合美術展覽會新京開催につき準備に來京した東方繪畫協會幹事渡邊晨畝氏は挨拶に來社した、氏は國都ホテル滯在、又滿洲帝國美術同人院の曾子仁氏も同展覽會開會挨拶に來社

岡部子着京

東方繪畫協會副會長貴族院議員岡部子爵は…三十を數個の筈である

東方繪畫協會幹事渡邊晨畝氏來京當局と開催事務打合せ中であるが、美術使節として岡部子爵は二十日朝七時新京に到着、尚正木直彥氏は二十三日朝七時來京、北浦大介氏は二十四日、小室翠雲、荒木十畝兩氏外二三名は二十五日續々來京の豫定である

滿洲國大演習後の 觀兵式は中央通りで

皇帝御統監の特別演習は既報の如く十月十三、十四の兩日にわたつて擧行されるが演習地區は新京公主嶺間で

幕僚長は軍政部大臣張景惠上將、兩軍司令官は赤軍(南)司令官吉林憲兵訓練處長應振復中將、藍軍(北)司令官靖安軍司令藤井重郎少將、參加部隊は靖安軍、第三敎導隊(チ、ハル)、騎兵第一旅(新京)、軍管候補生隊(奉天)憲兵學兵團(吉林)の五部隊約五千五百人で

今度の特別演習は純日本式の軍事教育をうけてゐる靖安軍を一方として行はれるものゝ如く演習は十四日の拂曉戰をもつて終り十五日は新京中央通で觀兵式を擧行、賜餐は式後西公園で行はせられることゝなつてゐる

電車バスの事業は 新會社に包含
全滿電氣の統制で

【大連國通】全滿電氣合同統制問題は十九日解禁されるに至つたが、新會社設立に伴ひ滿鐵傍系會社たる滿電の電車事業並にバス事業は當然分離されて新たな交通運輸會社により滿鐵鐵道部の分身的關係と指導部の支配下に置くと共に管理課の監督を受ける事となる筈で、その具體的會社設立案は既に鐵道部に於て承認を得て各重役會にかけ、電業會社の新設を俟つて交通運輸會社として事業を營む事となる、又營口の水道電氣株式會社も水源地、水道自動車、營業等特殊なる附帶行政は分離されて滿鐵の附屬地行政權內に包含され地方部へ移管されるものと觀られる

岡部子爵は來る二十五日より開催される日滿聯合美術展の準備の爲め二十日午前七時大連經由來京した

病院建設 滿鐵の帝制記念事業
滿洲主要都市に

【大連國通】滿鐵衛生課に於ては今回帝制實施記念として經費百萬圓三ケ年の繼續事業として全滿主要都市十ケ所に病院を新設し滿洲國民衆に貢獻することゝなつたが既に圖們病院は建設中で今年度中に於て通遼、ハイラル、明年度に安東、赤峰、林西、札蘭屯、大黑河、佳木斯に建設することゝなつて居る、右病院は二

淨土宗長春寺 彼岸會法要

市內曙町淨土宗長春寺では彼岸に際し二十一日、二十四日二十七日の三日とも午後一時半から同七時まで法要の後、法話及び講話を行ふ

憲兵隊司令部 鞄會幹事會

關東憲兵隊司令部內にある鞄會は二十二日午後六時から料亭一つ家において幹事會を開催す

けふの銀相場

金票對國幣 一二二円七〇錢
鈔票對金票 一三三円一〇錢
國幣對鈔票 九二円七〇錢
國幣對現大洋 九六円三〇錢

食糧運搬中 匪襲を受け戰死

(チ、ハル國通)十九日某所着情報に依れば十八日克東縣下に於て〇〇方面へ食糧運搬中突如匪首不明の六十名の匪團の襲擊を受け激戰の結果克東〇〇隊原籍石川縣赤石巖雄二等兵は匪彈の爲め名譽の戰死を遂げた目下詳細不明である

山海關長城東側に 都市計畫

【山海關國通】滿洲國民政部では當地滿洲國々境を區劃する長城線東側百六十八萬三千坪の土地に飽の王道樂土を建設すべく目下係員を派遣して都市計劃の測量中であるが、これが建設費豫算として三十八萬一千七百圓を計上、着々準備を進めてゐる、これが實現の曉は只一本の長城線を境として明暗二樣の天地が展開される譯である、支那側が果して如何なる態度に出るか當地では問題の中心となつてゐる

ネオンとジャズの街から 學生愈々閉出さる

【東京國通】問題の學生カフエー入禁止案は愈々來月一日から實施に決定、右は喫茶店ダンスホールからも學生をノツクアウトするもので學生はネオンとジャズの巷から追放の運命となつた

仙人掌

▲バー東京の綾子、さる日大陸春の宴會で滿鐵のナーさんの傍から離れずに太いバナナをホーばつていふには『このバナナちやんクルッとむいて喰べたらうまいな』となーる程彼女は甘い味を覺えたらしい ▲こゝの主子もその晩〇〇局のクーさんにだけ超サービスを提供してゐたです『クーさんよいゝ年して少しは遠慮したらどう?』ッて滿鐵のフーさんやけたか聞えたかしらぬ ▲サロンキングの蝶さん十七貫からあるそうです何を喰つても飲んでもやせる藥が見つからんので思案の結果ホレ藥でも飲みたいと訴へてゐますだれかホレ藥持合せの相手はないものかナー ▲こゝのアケミ鐵路局のウーさんのひざにしなだれかゝつてウツトリとしてゐました

新版江戸八景

(上映裝上)　行友李風氏外四氏作　鏑銀平他二氏畫

一六九

江戸職人と吉原娼妓　二七

高桑義生

南町奉行筒井伊賀守も、その一人であつた。

「拙者は同一人であらうと思ふ。たゞ名刀を奪ふだけでは、そこに何等の目的もない。今までの行爲は市人の心膽を寒からしめる曲者の手段だ、怪奇な振舞、その理由を解するに苦しむ振舞をして、まづ市人の心に驚異恐怖の念を抱かしめ、しかる後に自己の欲望をとげようとするのだ、或は同類の者があるかも知れない」

北町奉行神尾安房守はまたかういふ見解を下した。

「東に角一味の者であらう。別人か同一人であるかは問題でない」

でもない殊にこれまでの刀奪りの犯人と、今度不動の小平を殺害してその帶刀と金とを奪つた犯人とは、全然關係のないものであるといふ彼れの考へ——

「(小平を殺した犯人にくらべれば取るに足りない、拙者はこゝ旬日のうちにかならずこれを捕り押さへて見せる、そして全然關係のないものであるといふ證據を實證に見せてやる)」

正十郎はかう心の中で云つた。

その日の評議は纏らずに散會した。各々老中若年寄の命を含んでの我とぞといふ功名心を燃え立たせただけである。

その夜、また同じような殺人が行はれた。殺されたのは藏前の札差青山又藏といふ者で、帶刀も所持金も奪はれてゐた。

× ×

役人達は世上いふ所の陰謀徒黨といふほどの者ではないが、かく連絡の振舞をする所を見ると、一味の者たがひに氣脈を通じての事と考へるのが至當であらう」

いよいよ重大な事件として、老中若年寄も密々に評議をすることになつた。その席には兩町奉行は勿論、與力數名も列なつた。小野田正十郎もその一人であつた。

正十郎はこの事件に就いて、誰よりも詳しい事實を知つてゐた。しかし、彼は口を噤んで多くを語らなかつた、何故ならば彼一人だけ全然考へが違つてゐたからだ。

「勿論重大な事件である、怪奇な事件である。」

しかし、この事件は決して政治的な色彩を帶びたものではない、陰謀でもなければ、一味徒黨でもない。

さういふ意味の重大な事ではなくて、より不思議な、常人の解するに苦しむ怪奇的な事である。

——不思議な事實——たゞそれだけである。そしてその外の何もの

「千吉」

かういふ語氣が餘りにはげしかつたので、千吉は下ろさうとした槌を振上げたまゝ、驚いて師匠東兵衛の顔を見た。

「止せ、貴樣のやうな者に相槌は頼めぬ、さつさと出て行け！馬鹿奴が……」

東兵衛は吐き出す樣に云つた。顔の筋肉がぴくぴく痙攣してゐた。

千吉には何が何だかさつぱりわからなかつた、仕事を始めるか始めないにかう言はれたので全くどぎまぎしてしまつた。

すると續いて東兵衛は、噛みつくように怒鳴つた。

「何躊躇々してやがるんだ、こゝを出ろと言つたらさつさと出て行け！」

「親方、ど、どうしたのです」

「どうしたもかうしたもねえ、手前のような者に大切の刀の相槌は頼めねえんだ、手前の身體は汚れてゐる」

かう言はれて千吉もはつと顔色を變へた。

九月二十一日 (舊八月十三日)　金曜　乙未　友引　開　亢宿

●一白の人　調子に乘り過ぐれば異變突發の恐れある日　甲と乙と辛が吉
●二黑の人　着實にして小利に安んずべし焦れば大失敗　甲と丑と寅が吉
●三碧の人　運氣閉塞の日一時も氣をゆるすこと能はず　申と辛と亥が吉
●四綠の人　蹉跌ありとも失望せず呑氣に構へ勵むが吉　乙と申と辛が吉
●五黃の人　開拓は一鍬より始まる急がず焦らず勵めよ　巽と巳と丑が吉
●六白の人　風波次第に治まり平靜なる航路となる吉日　甲と乙と巳が吉
●七赤の人　誠實の行動は衆人之れに同情し計畫も成る　庚と辛と丑が吉
●八白の人　人に逆ふときは地位に變りを生ずる憂あり　甲と巳と丑が吉
●九紫の人　調子外れをして深みに落入ることあり注意　申と亥と壬が吉

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪行)

×印二三等船客設備船　▲印廣島寄港　(午前十時大連出帆)

船名	出帆日
ばいかる丸	九月廿二日
×志あとる丸	九月廿三日
扶桑丸	九月廿五日
はるびん丸	九月廿六日
亞米利加丸	九月廿七日
うらる丸	九月廿八日
▲香港丸	九月廿九日
×たこま丸	十月一日
うすりい丸	十月二日

切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符(往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月)
大連、門司、神戸間乘船切符(往復切符は復路運賃二割引通用期間三ケ月)

専屬荷扱所　各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社
大連支店電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二二一六番

新京より京圖線を通して日本行最捷路

日滿連絡船

滿洲行	滿洲丸	天草丸
敦賀	每二の日 午二時發	每六の日 午二時發
清津	每の三日 前七時着 前十時發	每の八日 前十時着 后一時發
羅津	每の三日 午三時着 午四時發	每の八日 后六時着 后九時發
雄基	每二の日 午六時着	每六の日 前八時着
浦汐	／	／

日本行	滿洲丸	天草丸
浦汐	／	每〇の日 后三時發
雄基	每六の日 前九時發	每の一日 未明着 前九時發
清津	每六の日 后四時發	每の一日 午三時着 后七時發
敦賀	每八の日 前八時着	每三の日 后三時着

北日本汽船株式會社　清津雄基羅津代理店　國際運輸株式會社支店

（大正九年十一月二十四日第三種郵便物認可）
新京日日新聞
朝刊
本紙夕刊共八頁
本紙定價　一部五錢　一ヶ月一圓
廣告料　普通一行　一圓三十錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二三五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

日支非戰區海上に軍艦配備は絶對不可
宮越事件責任は首腦部に及ぶ
柴山武官于學忠氏に嚴重通告

【天津廿日發國通】北平武官柴山中佐は十九日于學忠氏を省政府に訪ひ、非戰區海上に於る支那側警備艦は純粹の意味に於る警備艦所定隻數のみこれを認め現在の如く同海上に軍艦を派することは停戰協定の精神より見て許容し難き旨を通告すると同時に宮越事件に就ては追つて總領事館側より交渉あるべきも責任は當然省政府當局首腦者に及ぶものなる旨嚴重なる通告を發するところあつた

世界平和確保の爲聯盟加入を招請
うぬぼれたソ聯邦の意向

【ハルビン國通】ソ聯の國際聯盟加入に關しソ聯側の意向は大体左の如くである

即ち今や世界の潮流は主戰派と非戰派に分れてゐる形であるが、ソ聯は終始＝一貫＝して平和の愛好者で、隣邦諸國とは既に不可侵條約を締結し又聯盟を中心とする平和會議にも欣然參加して來たことはその有力なる證左である、入會の徵あるこのソ聯の平和强調主義は他國に徹底し、今や世界平和確保のため聯盟は遂にソ聯の聯盟加入を招請するに至つた、先づフランスは率先してソ聯の眞意を諒承し戰爭勃發の危機を除かんとし佛國要路者は「そう云ふ譯なら缺點だらけの國際聯盟をソ聯も支持しよう」と云ふ勞農獨裁官スターリンの言葉を引用して意見を開陳してゐる、また戰派過去の聯盟は平和の强化に無力であつたに鑑み、ソ聯を招請して平和の確保を來たさんとしてゐるが、この意味に於てソ聯の加盟は政治的に重大な意義を有し、ソ聯は平和强化に枢要な役割を演ずる形である、さり乍らソ聯の加盟を＝敵視＝するものあることをソ聯は熟知してゐるが、ソ聯は有事の際に善處する有力なる赤軍を有してゐる、世界平和は世界人類の平和愛好の意思とソ聯の力に依つて確保されるときである、云々

來夏太平洋で米艦隊大演習擧行
海軍長官十九日發表

【ワシントン十九日發國通】米國海軍當局は搜敵、戰鬪兩艦隊を網羅する軍艦百數十隻を總動員し一九三五年夏を期しアラスカからハワイ群島に至る東太平洋上に一大攻防演習を擧行するに決し海軍長官スワンソン氏は十九日次の如く發表した、合衆國艦隊は明一九三五年夏ビューゼットサンド、アラスカ、ハワイを結ぶ三角洋上に於て海軍大演習を行ふ右演習は艦隊集中領域と近接屬領の領海とを連絡し洋上の防備を確保するべく海軍の根本政策に基づくものである、演習は成るべく實戰に近きものとし必要に應じては如何なる敵軍をも反擊し得るやう艦艇を修練せしめることを目的として居る、合衆國艦隊は本年末迄には太平洋岸根據地サンペドロに入港する筈である

ム首相の全國民百パーセント軍隊化策

【ローマ十八日發國通】ファッショ首相ムッソリーニ氏は全國民の百パーセント軍隊化を實現するため全國八才以上の學童に對し强制的軍事教練を施す事に決した、イタリー政府は十八日會議の結果右國民軍隊化に關する二ヶの政府令を可決したが右政府令の内容は左の通りである

一、イタリー國民たる男子は八才より二十二才に至る迄夫々嚴格なる等級に從ひ一率に軍事教練に服し所定の軍事教練に優秀なる成績を擧げ得ない學童には學術試驗に合格しても修業證書を附與せず

二、二十二才から正規の徵兵義務に服し義務年限を修了したる後も更に十ヶ年間國民兵役に服し毎年點呼に應じ訓練に附す

三、各種專門學校及大學に於ては現役將校指導の下に軍事科學講座を設け必須科目とする

錦を飾つて謝外相歸省
十一月初旬新京發の豫定

滿洲建國以來二年半友邦日本と提携し叢々たる輿論の中にあらゆる難關を突破し若冠滿洲國を遂に國際場裡に乘出さしめた今をときめく外交部大臣謝介石氏は豫てより郷里臺灣新竹州の祖先の墓に詣でたき意向を有してゐたが、滿洲國の外交政策も漸く確立し、諸般の政も順調に進捗しつゝあるので寸暇を利用し、今年十一月初旬家族隨員二十三名を伴ひ門司經由故郷に錦を飾ることとなつた、同氏を外交部に訪へば喜ひの色を双頰に浮べながら流暢な日本語で語る

私は生れが臺灣だが殆ど臺灣で生活したことなく久しく郷里へも歸らず子供達も一度臺灣が見たいと云ふので此の十一月から十二月に一度歸省して約二ケ月位滯臺して恩顧を受けた臺灣總督府に御禮を述べ祖先の墓にも詣でたいと思つてゐます、臺灣戰爭が起きた際私は一時支那に避難し二年後常態に復してから臺灣へ歸りました、それから新竹國語練習所で日本語の稽古をやり上京して常時の臺灣總督兒玉伯の推薦で今の拓殖大學の臺灣語、支那語の講師となり傍ら明治大學で勉强しました明大卒業と同時に吉林の違將軍の許に日本人顧問の資格で來滿し、それ以來吉林、天津、安徽、福建と滿洲、支那各地に遊び滿洲建國と共に此の地におさまる事になりました、今度歸郷するのは三十五年振りです

大臣が今度歸省されたら御子さんにお嫁を迎へられると云ふ樣な話を聞きましたが、と云へば

アハヽヽ、私には吉林生れの吉生（二二）上海生れの滬生（二一）天津生れの津生（一七）が居るがね、もうそろそろ嫁をめとつてやりたいと思ふがなるべくなら臺灣との緣を切りたくないと思つて臺灣人を迎へてやりたい、然し今度歸つてめとるのではないがね

子ぼんのうな大臣は目を細くしてワッハッハヽと笑つた（寫眞は謝外相）

日本品續々到着禁止處分關係商人成行重視
セイロン島輸入制限後積出品

【東京國通】在コロンボ黑木領事代理發電によればセイロン島に於ける輸入割當實施の結果我商品は本年度分は割當超過で輸出不能に陷つて居るが、特に五月七日以前の契約で八月一日以前に日本積出しを行つた分のみ輸入許可を受けた處八月一日以後の積出品が續々到着輸入禁止の處分となつて居る狀態なので關係商人は之が成行きに注目して居る

土方久敬伯爵勳位返上宗秩寮審議會で決定

宗秩寮審議會は二十日午前十時半から宮中で開會され、黑田侯議長席に就き近衛公、松平伯以下各審議官並に湯淺宮相、木戶宗秩寮總裁等も出席の上嚴肅裡に開會、岩波事務官より土方伯の入露に關する議案を提出し處分案を愼重審議を行つた結果、華族令第二十四條を適用し華族の體面を汚辱するものとして斷然伯爵、從四位の榮ある爵位の返上を命ずる事に決定御裁可を仰ぎ即日近親者を宮內府に招致爵位の返上を命じた

ソ聯共產黨員國外追放

【ハルビン國通】ソ聯共產黨員七名は治安攪亂の廉により二十日貨物列車で滿州里に護送され國外に追放された

【東京國通】モスクワのソヴエート作家大會でアジ演說を

事變記念日と支那各新聞の論調

【上海十八日發國通】滿洲事變三周年を迎へて當地支那紙は一齊に社說を揭げて國民の注意を喚起して居るが、其の論調は例外なく一樣に他力本願の有害を說き將來の復仇を目標に自力民力の涵養の急務を叫んで居る、各紙論調要旨左の如し

時事新報

滿洲事變による極東の變化に就き國際聯盟はリットン報告書公表四十二票對一票の決議等でその理否曲直を明かにしたが引續いて起つた日獨の脫退及び列國の利害關係によつて聯盟自身氣息奄々たるの狀を呈し最近に至つて起つた現象即ち露國引入れ、支那の常任理事國落選、サルバドルの滿洲國承認、米國商人の滿洲國視察等を併せ考へれば聯盟は遂に我が國と極めて縁の薄いものであることを痛感する、また日本を觀るに焦土外交の內田外相に代つた廣田外相は協和外交を煙幕として居るが其の餘燼は變ることなし國民の面前に示された事實的敎訓はこれだ、賴むものは自分より他にない、民族意識を喚起して民族活力を貯蓄して他日復讐の用に供せねばならぬ

晨報

米國の援助國際聯盟の幾多の決議宣言、スチムソンドクトリンの發動これ我國人の唯一の賴みであつた、而して今吾人の面前に展開された事實は何であるか、吾人は速に他力本願の無益を知つて自强自立を圖らねばならぬ、これ吾人所感の一である、現在は科學萬能時代である古來の大刀を以て精銳兵器を有する日本軍に向ふ結果は過去の戰役がよく示して居る、吾人はこれ等の失敗に鑑み科學軍備の充實を圖らねばならぬ、これ吾人所感の二である、團結して外侮を防ぐことだ、顧るに現に國內の若干地方は事實上獨立の形をとつて居る、吾人は國難救濟のためこれ等擾亂者を克服せねばならぬ、これ所感の三である

民報

日ソ兩國間の風雲急迫し衝突必至の狀勢である、日ソ戰爭は第二世界大戰爭を誘起すべく、又日ソの戰爭は九、一八事件を遠因とするであらう、依つて世界戰爭の慘事を防がんとせば逆に遡つて東北四省を支那に返還する一方法あるのみである、現今支那の財力科學、兵力皆日本と抗爭するに足りないことは事實だ、しかし精神到る所金石また開くのたとへがある、暫く屈して國力の充實を圖れば失地回復の時機が來る、失地回復はこれによるのみである

上海市黨部佈告を發す

【上海十八日發國通】滿洲事變三周年を迎へ支那側では國民政府並に國民黨中央執行委員會の命令指示により全國一齊に記念運動を行つたが、當地でも市政府當局及黨部が中心となつて

一、各界代表記念大會
一、午前十一時より五分間默禱
一、記念出版物發表

を行ふ他全市の歌舞音曲、娛樂機關を停止し、官廳、銀行、大會社等には半旗を揭揚せしめ、又郵便物には記念スタンプを押捺して哀悼の意を表して居るが、一般市民の情景は平日に少しも變りなく極めて平穩である、尙國民黨上海特別市執行委員會は本日大要左の如き佈告を爲した

一民衆に告ぐる書

三年前の今日を回顧せよ！日本帝國主義者は突如起つて我東北四百餘萬方里の領土と三千餘萬の同胞とをその鐵蹄下に蹂躙した空前の國恥に對し我國政府は不斷の抵抗を行ひ日本に精神上の重傷を與へ又民衆側は義勇軍を東北に活躍せしめ、一方國內に於ては日貨排斥により日本の商工業に大打擊を與へた、只無力なる國際聯盟及我武力の微弱、其後に於る排日貨運動の非力によつて今や日本の進出は我を益々苦境に陷れんとして居る、我々は此の記念日に當り臥薪嘗膽政府に協力して左の事項を勵行し國恥を雪ぐことに沒頭せよ

一、日貨不買、國貨提唱
一、國力の充實、空軍の充實
一、速かに共匪軍の掃蕩を完成し抗日の準備に當る

ダイナマイトで水門を破壞
米人暴徒又復邦人農場襲擊

【フェニックス十九日發國通】米人暴徒數十名は十九日午前零時自動車三臺に分乘、日本人農民大熊某の農園に侵入ダイナマイトを投じ居宅附近にある灌漑用溝に命中炸裂したが幸ひ實害はなかつた、これと相前後して十九日午前二時頃同じく日本人農民の住宅附近にある水門が暴徒のために爆破され住家は被害を免れたが同家の耕地二十エーカーは一面水びたりとなつた、日本人農民團は直ちに州廳に訴へたが相次ぐ暴徒の襲擊にソールト、リーバー平原一帶の日本人農民は戰々兢々たる有樣である

滿洲國辭令

興安總署技正　大須賀國廣
同　三浦四郞助
任興安總署技佐敍薦任五等（各通）
興安總署祕書官　旺欽超克素榮

敍薦任五等　巴金保
任興安東分省公署總務廳長
敍薦任四等
任興安東分省公署民政廳長　志達圖
敍薦任四等
任興安南分省公署總務廳長　富凌阿
敍薦任四等
任興安南分省公署民政廳長　博彥滿都
敍薦任三等
任興安西分省公署民政廳長　諾拉爾圖扎布
敍薦任二等　榮安

任興安北分省公署總務廳長
敍薦任三等　奇普森額
任興安北分省公署民政廳長
敍薦任三等
興安東分省事務官　吉爾蔓郞
同　阿罕台
同　索米色宏
同　綽克巴圖魯
同　墨爾根巴圖魯
任興安東分省公署理事官
敍薦任六等（各通）
興安南分省公署事務官　頌嘉
任興安南分省公署理事官
敍薦任六等
興安南分省公署事務官　額爾赫謨
任興安南分省公署理事官
敍薦任七等
興安南分省公署事務官　包尼邪巴斯爾
同　烏力圖
同　小野豐和
任興安南分省公署理事官
敍薦任六等（各通）
興安西分省公署事務官　薩蔓拉扎布
同　哈豐阿
任興安西分省公署理事官
敍薦任六等（各通）
興安西分省公署事務官　米濟道爾吉
同　卜和克什克
任興安西分省公署理事官
敍薦任七等（各通）
興安北分省公署事務官　雙海
同　保定
同　倭克吉布
同　德春
任興安北分省公署理事官
敍薦任六等（各通）
興安北分省公署事務官　春祥
任興安北分省公署技正
敍薦任七等　高井泉
任興安北分省公署技佐
敍薦任六等
興安南分省公署參事官　松岡信夫
敍薦任三等
興安東分省公署祕書官　蒼明順
敍薦任六等
興安東分省公署視學　碩爾蔓
興安南分省公署視學　烏雲達賚
敍薦任七等
興安警察局長　甘珠爾札布
同　索寶
同　敬掘太
敍薦任四等（各通）
興安警察局警正　內藤三次
同　岡田克巳
同　石井保之
同　鯉井文雄
敍薦任五等（各通）
興安警察局警正
敍薦任六等　佐相寅秀

海軍機の飛翔を見て
姜文儒

末次海軍大將閣下以下の海軍諸將星の御來新を衷心歡迎致します、殊に新京上空に飛來しました海軍飛行機は隊伍律然として實に壯觀なものでありました、彼のキリモミ、チウガヘリ等種々の妙技を見ました、我海軍機がかくも練磨熟達したことは我等の感謝する處であります、將來共皆樣は御壯健で益々御奮勵下さいます樣に御祈念致します

滿洲山護國寺の欺瞞行爲
寬城子　解田生

滿洲事變記念祭は日滿國民に取りては寸時も忘る可からざる日なり故に日滿各地に於て盛大に擧行せらる、我が寬城子も英靈眠る二十四勇士奮鬪の戰跡地として地元日滿民有志の發起にて盛大に慰靈祭を兼ねて供養會を擧行するの議決定せりと聞く吾人双手を擧げて贊成する者なり然るに確聞するに地元民の寄附金に依る其の費用の剩余金を以て護國寺なる物の地鎭祭或は假禮拜堂建設資金に當る由とは其の眞意の何邊にあるやを疑ふなり寄附金を地元一般より募るや慰靈祭供養會の名を以てなし毫も滿洲山護國寺に關知せざるに其の建設費の一端となすは美名に隱れたる欺瞞行爲なり何が故に斯る行爲に出たるや其の眞相知る者をして甚しく笑止の感を抱かしむべし曩に護國寺建設用地無償拂下條件として今年內に起工せざれば北滿特別市へ土地沒收せらるなり然るに發起者側に建設資金なき折柄時恰も良く記念祭の美名と結び付けバク禮拜堂を建築し以て一時を糊塗せんとす窮余の一策とは云へ敬服の他なし、吾人あえて問はん建設資金を得る爲めの慰靈祭供養會なりや將又靈魂を慰めんが爲めの慰靈祭供養會なりや

日滿經濟統制調査に川島公使を派遣

【東京國通】通商問題の專門家である前ギリシャ公使川島信太郎氏は廣田外相の命を受け、十月上旬約三週間の豫定を以て滿洲國經濟産業視察の途に上る事となつた、廣田外相は日滿經濟統制實現の機關として日滿兩國間の條約締結に依り日滿經濟共同委員會なる國際機關を設定したき意向を有してゐるので、川島公使の滿洲國視察は日滿經濟統制の具体的事項を調査研究する事が主題と觀られる

第一軍管區近く安東へ移轉

【奉天國通】奉天第一軍管區鳳城警備司令王孝先氏は現地に於ては種々不便があるので同司令部を安東に移轉すべく豫て于芷山上將に提案中のところ今回于司令官の決裁を得たので王司令は直ちに安東縣內元東邊東北鎭守使署跡を司令部に指定、目下移轉準備中である

空の威容堂々、きのふ吾等が待望の帝國艦隊飛機一行銀翼を連ねて晴れの國都入り、この空前の壯觀に誰しも多大の感激にひたつたことであらう、▼新京飛行場を取り卷く日滿人の歡迎もまたなかなか盛んなもので、殊に滿洲人教職員に引率された各學校の生徒兒童を始め一般官民ら極めて多數に上つたが、なんといつても美はしい情景であり、▼わざわざ艦隊飛行機の國都訪問の意義が十二分に達せられたことゝ思はれて喜ばしく今後もかうした機會が幾度か到來せんことを冀ふもの敢て吾々日本人のみに限らず、滿洲人もまた同樣であらうと思ふ▼きのふ飛行場に出かけて今更の如く遺憾に感じたのは例の鐵道踏切だ、あの多數の通行人が交通遮斷されたのだから堪らない、忽ち人の山、車の山を築いて身動きもならぬ始末、▼平常でもその混雜は言語に絶するばかりなのだから當日は想像に難くないが何にしても、この際ぜひ地下道に改めたいものだ▼過般來中の全國中學校長の總會がきのふ商業講堂で開かれたがその議題の一つに『教育上日滿親善を促進すべき良案如何』といふのがあつた、種々討議の上結局委員附託となつたが▼どんな一名案が浮ぶかは別として、こうしたことは議論よりも實踐にあるわけで校長各位のなほ一段の努力が望ましい

天氣	北西の風晴一時曇
氣溫	最高十七度七　最低五度七
日出	午前五時二十四分
日入	午後五時四十分
月出	午後四時三十一分
月入	午前二時三十七分

編隊海軍機飛來で 全新京爆音の包圍

遅着の憂色もどこへやら！ 今朝發ハルビンへ

「南方一帶强風のため編隊機は豫定より一時間乃至一時間半遅延の見込である」との報道に飛行場を取卷く人々の心は暗い、豫定の時間を一時間余を過ぎたが南の空には機影はなく、どんよりと曇つた空はだんだんと

＝險惡＝の色が濃くなつてゆく、飛行聯員のかざす望遠鏡にありありと焦燥の色が現れて大人も子供も空しく時を過さなければならなかつた、遠來の鳥人を氣づかふ人々の心はポツリポツリと落ち來た雨にいやが上にも曇つてしまふのだ、「まだか」「どうしたのだらう」熱つぽい頬にヒヤリと雨が打つかる、「來たつ！」「來たぞつ」突如あがる叫聲、なるほど見えた、雨を含んだ灰色の空に一機、かすかに見えたやつと救はれた氣持に湧き上る歡喜！時に三時二十五分、暫らく感激の波が飛行場に漲る、一機は見えた、けれど續くはずのわが海軍機はどうしたのだ、關東軍ご自慢の誘導機〇〇機はまた姿を消してしまつた、だが十分の後、來た來た、鳥群は現れた南の空に海軍の精鋭を誇る編隊群はその英姿を熱狂した市民の前に浮べたのだ、不安も焦燥も一時に吹き飛んでしまつた歡迎群衆の爆音に呼應して陸の歡呼がこだまする場内を包む爆音と共に第〇、第〇編隊はみるみる勇姿を飛行場に横へたどつと擧る萬歳の聲、續く第〇〇編隊を迎へて着陸した〇〇〇機は再び空へ、市民へ挨拶に昇つた、爆音に包まれた新京、四時四十分には西公園上空の曲藝飛行並に宮内府上空における通信筒の投下と高等飛行も終へて編隊は無事エボツクメーキングな國都訪問飛行を終へた、丁交通部大臣の

＝祝辭＝を聽く勇士の胸に無量な感慨があつたらう、大原地方委員會議長の發聲の「大日本帝國萬歳」「大日本帝國海軍萬歳」三唱の歡聲が廣い飛行場に余韻を傳へる裡を空の勇士は西公園における官民合同の園遊會へ向つた、全市を擧げて待望の今宵全市爆音に包まれて日滿兩國民の感激は思つても余りあるものがある

末次大將講演

感銘を與ふ

聯合艦隊司令長官末次大將を迎へての「時局と海軍」の講演會は二十日午後三時から新京高等女學校講堂で開かれた市民は時局に對する認識を重ねて深くする好機を逸せずと定刻前に會場に詰めかけ忽ち會場は滿員となつた、やがて末次司令長官は割れんばかりの拍手裡に登壇緊張し切つた聽衆は演壇に獅子吼する海の將軍の一言一句に聽入つてゐる、かくて一時間半の長廣舌に及び午後四時三十分ごろ深き感銘を與え盛大裡に終了散會した

難航を語る 編隊長塚原大佐

晴れの國都訪問大飛行を果した榮へある當日の編隊長塚原大佐は難航にも疲れを見せず元氣に語つた

南滿方面の颶風のため可なり苦心しましたが恙なく都入りしたことを喜んでゐます、今回の訪滿飛行に當つて全滿からの御援助を衷心から感謝します、さきほど宮内府上空百米の低空から敬虔な氣持で滿洲國皇帝へ捧呈の賀表を投下しました明日はハルビンへ飛びますが、どうぞ貴紙を通じて新京の皆様へ私達一同の謝意を傳へて下さい

本紙を通じて市民に感謝

妙技 高等飛行に 海軍への信賴倍加 市民たゞく感激

この日新京の上空に高等飛行を演ずる六機は四時二十分新京飛行場を離陸して

＝三機＝三機は西公園の空中に陣形をなして何れも小さく一圓をえがく、とみる間に雨空の六機はもの凄い爆音をたてゝ敵機の急襲に高等飛行の火蓋をきる、馬車夫は馬足を止め鳥は樹上に翼を憩めてこれを歎望、人々は屋上に山をなし感嘆と感激の眼なざしを上空に向けて思はず手に汗を握りしめて妙技に醉ふなかを二隊に別れた六機は横轉逆轉、錐揉、木葉落しさては敵前の急展開

＝逆襲＝と見る人をして思はずあつと叫ばしめる高等飛行を思ふがまゝに演じかくして同三十五分翼を直して西空低く勇姿を消した

二百萬圓で 安東滿洲街復興

【安東國通】十九日午後鎌田奉天省公署民政廳建設科の黒田技正と共に安東地方事務所を訪ひ、松尾地方係長と協議を重ねた、これが内容を聞くに安東縣公署では過般の水災復興に關連し、安東滿洲街の大都市計畫を實施すべく立案中で大体工費二百萬圓を投じ來年度より着工の豫定である、右は是亦立案中の附屬地大都市計畫と密接な連繋をとり並行的に實施する要があるので、同參事官の地方事務所訪問となつたものと解される

新京憲兵隊 特高課增員

關東軍の諸工作を背面より扶け、又滿洲國の内政整備に匿れたる援助を與へて國都新京の治安維持に重要な役割を演じて來た新京憲兵隊本部は、特高課長の下に内勤、外勤の係長を配して課員二十數名の活動機能を充分に發揮させてゐたが、情勢の推移と共にその管掌事項は日一日と擴大され、現在では手不足を感ずるに至つたので、近く全滿憲兵

海軍諸問題につき 新京有力團体決議

末次提督に宣言決議を表示

一九三五、六年の國際危機に直面し海軍問題に對する我が主張を貫徹せしむべく政府當局を鞭撻し民間の輿論を振興すべく蹶起せる新京海友會、帝國在鄕軍人會新京聯合分會、長勇會、大亞細亞建設社、滿洲青年同志會、滿洲國參事官自治會、五日會等の諸在滿有力團体は目的貫徹のため共同戰線を張くべく數日來熱烈な意見を闘しつゝあつたが二十九日各代表は徹宵討議の結果折柄來京の末次提督歡迎の意味において海軍問題に關する宣言決議文を前記各派代表の連名を以て決議し高等女學校に催されたる末次提督の講演會場に臨み、末次提督の演說終るを待ち滿場拍手裡に四戸在鄕軍人會新京聯合分會々長起つて末次提督來滿歡迎の意を表示せる次の宣言決議文を朗讀した

宣言

今や軍縮條約改訂は目睫の間に迫る、偉大なる覺悟と擧國一致の結束力とを以てこの會議に善處すべきは獨り東洋平和の責に任ずべき大日本皇國の神聖なる義務たるのみならず、其の成果は實に祖國興亡安危の運命を決定するものと斷ず

須らく既存の屈辱的弊風を一洗して個個維運なる氣魄を鼓舞し此に非常重大の會議をして大日本皇道世界宣布の發足たらしめざるべからず

時恰も滿洲事變三周年に會する今日新興滿洲帝國々都に於て末次聯合艦隊司令長官閣下並に麾下の精鋭を迎ふるを得たるは寔に深甚なる天意の具現なりと信ず、玆に於て祖國日本と其の國軍と運命を共にすべき滿洲帝國に在る吾人は烈々たる鐵魂を以て衷心の希願熱禱を大日本海軍當局に訴ふると共に益々戮力協心以て全國民覺醒の警鐘を亂打し澎湃たる輿論を喚起決死素志の貫徹に邁進せんことを期す、謹みて從來の末次閣下始め我が光輝ある大日本海軍々人に滿腔の敬意を捧ぐると共に職として吾人の決意を明かにす

決議文

一、既存海軍條約の即時廢棄を期す

二、來るべき軍縮會議に於ては國防自主大亞細亞建設に必要にして充分なる海軍兵力量の確保を期す

三、吾人は海軍當局の强固なる方針及決意を絕對に信頼支持す

四、不動の國策遂行上國論の統一を阻害する邪惡の斷乎撲滅を期す　以上

昭和九年九月二十日

新京海友會代表　岩坂杢三郎

帝國在鄕軍人會新京聯合分會代表　四戸友太郎

長勇會代表　阿部忠次

大亞細亞建設社代表　荒木章

滿洲青年同志會代表　原口純允

滿洲國縣參事官自治會有志代表　澤井鉄馬

滿洲國五日會代表　坂田修一

皇帝に謁見は ハ市歸來後

聯合艦隊機の國都訪問飛行は南方一帶の颶風に災され豫定より約二時間遲着したため二十日午後三時皇帝より謁見を賜るはずの搭乘者は着陸後直に西公園の官民合同歡迎園遊會に臨んだので一行の謁見はハルビン訪往後行はれる模様である、なほ一行は二十一日

なんとこの夏

七十四萬七千六百四十圓 二百五十一萬五千六百本 新京人の呑んだ ビール、サイダー

複雜極まる滿洲景氣……夏季飲み物の筆頭ビールが如何なる數字を示したか、これは首都新京における料亭、カフエー、一杯屋合せて取扱ふ大日本ビール、サッポロ、キリンアサヒ、ユニオンの元締市內興榮號商店吉井壽一氏の帳簿上の數字である、本春以來新京入荷のビールは四打入三萬六千箱、サイダー一萬五千箱昨今ユニオン等は既に品切れといふ状況、なほ今後本年內にビール八百箱、サイダー六百五十箱を補充する豫定で、これをビール一箱十五圓、サイダー一箱五圓六十錢にする時はビール代六十八萬圓、サイダー八萬七千六百四十圓、驚く勿れ合計七十四萬七千六百四十圓、二百五十一萬五千六百本のビール、サイダーを飲んだ事となり、新京の飲みつぷりは奉天、大連に比し約三割の增加を示してゐるとは、こゝにも新京景氣を物語る大きな資料がある

僅かの間に 二百圓失敬さる

二十日午前八時ごろ滿鐵新京醫院第一病棟五號室入院の羽衣町二丁目雜貨商片本榮三郎氏が現金二百圓を電報用紙に挾み手提金庫上に置きちよつと廊下に出た隙に乘じ何者か侵入竊取してゐるので直に新京署に屆出で係員が急行搜査をなしたが犯人を逮捕するにいたらなかつた

伊太利音樂家 演奏プログラム

チマツアイマルチアリヤ兩師の滿洲國社會事業後援大音樂會は二十一日午後七時新京高女講堂で行はれるがプログラムは左の通りである

第一部

一、勝利の歌　兵士の合唱　ダノー作曲二部合唱

二、アンゼルス　デンツア作曲　二部合唱

三、小學校用唱歌

四、伊太利ダンス　デユポア作曲　二部合唱

五、からたちの花　山田耕作作曲　テノール獨唱

六、オルガンツナタ　カポチ作曲

七、腹話中佐　チマツテイ作曲

第二部

一、アッチラ　ウエルデイ作曲二部合唱

二、日本唱歌　チマツテイ作曲バス獨唱

三、ブーニ　ロツシニ作曲

四、ボヘミアンダンス　ビゼー作曲テノール獨唱

五、荒城の月　山田耕作作曲　テノール獨唱

六、伊太利民謠

七、卽興樂

なほ當日は天才少才ピアニストとして川崎宣化司夫人の推賞せる勝津、郡司兩令孃が助演することゝなつて居り、チマツテイ氏の『卽興樂』は滿洲樂壇には始めてのこととて各方面から期待されてゐる

滿鐵新京社員會 評議員會開く

滿鐵新京聯合會社員會では近日中に開かれる社員會幹事會並びに評議員會に提出すべき議案に就て打合せをなすため廿一日午後一時から新京驛貴賓室において評議員會を開く

双山縣東方に ペスト發生か

鄭家屯ペスト防疫所から鐵道事務所への入電によると十六日午後二時ごろ双山縣東方二十支里山西屯にペスト樣の患者が發生して十六日までに死者九名を出し現在患者一名あり、村民の談話によると何れも發熱及び淋巴線が腫脹してゐたと、同縣では省政府に對し防疫醫の派遣方を申請中であるがとり敢へず鄭家屯の醫師及び助手を現地に急派した

偽造紙幣の使用に 御注意下さい 内地人の十圓國幣使用者に

最近頻々として起る國幣僞造紙幣行使については各署とも躍起となつて其出所を嚴探中であるにも拘らず又復僞造紙幣行使の怪漢が現はれ當局を惱ましてゐる十八日午後十一時半頃城内東三馬路五六飲食店田中スエノ方へ年齡二十五六才位の一日本人入り來りおでん一皿を注文し西五馬路の新開樓まで屆ける樣言ひ置き國幣十圓を差出したのでスエノは夫彌三郎から九圓を受取り同人に渡したが同人は金票なれば十一圓となるが二圓は後で取りに來ると言ひ捨て其儘立去つたので夫婦は聊か不審に思つてゐたが翌十九日前記の紙幣を近所の滿人宅で兩替せんと持ち行き其處で僞造なる事を發見驚いて城門外派出所に屆け出たが一般商人は特に注意が肝要である

大同學院の 道場開き

大同學院では來る二十四日正午から南嶺移轉新築落成祝賀會に際し武道場開きを兼ねて柔劍道大會を催す、試合方法は柔道全新京對大同學院、個人試合、劍道高點試合で參加希望者は氏名、段級、年齡、身長など記入して廿二日までに同學院柔劍道部へ申込のこと

愛知縣佛敎團 日滿戰病歿者慰靈祭

愛知縣佛敎會、同縣敎化事業協會主催、同縣各宗代表僧侶二十名の一團は滿洲各地を巡錫日滿兩國戰病死者並に殉職者の慰靈を行ひつゝあるが、新京へは二十一日午後三時二十五分來着、二十二日午後一時から西公園誠忠碑前で新京地方事務所、滿洲國文敎部、新京佛敎團、新京愛知縣人會後援の下に純日本佛式により大慰靈祭を嚴修することとなつた、右へ參會するものには當日西公園の入場料を要せぬこととしてゐる

慰靈祭順序

イ、開會の辭、ロ、式辭、愛知縣佛敎團代表、ハ、愛知縣佛敎會長代理、ニ、讀經、ホ、燒香、ヘ、來賓及遺族其他一般參詣者、ト、廻向、チ、散會閉會の辭同會代表、所要時間約一時間、當日若し雨天ならば會場を室町小學校に變更する

通化で匪害の 相澤武雄氏 遂に死去

【奉天國通】去る十七日通化附近に於て匪賊襲來の際重傷を負つた奉天鐵路局員相澤武雄氏は爾來奉天滿鐵病院に入院加療中であつたが、二十日午前七時五十分遂に死去した依つて二十二日午後三時より鐵路局グラウンドに於て局葬を以て葬儀を執行する事となつた

邦人脅迫の 滿人强盜射殺

【奉天國通】二十日午前七時頃京都生れ葵町二番地吉良方居住吉澤靈一（二七）中山克二（二八）の兩氏は勤務先なる大東邊門外滿洲工廠前に於て職工服を着用せる二十才前後の滿人に小型拳銃を突きつけられ、中山は逸早く其場を逃れて急を工廠守備に急報したこの際に賊は吉澤を脅迫しつつ同工廠に添ひ兵工廠裏で三家子廣場盆地迄連行したが急報により守衛巡警等かけ付けたので吉澤は賊の手を叩き逃走して難を逃れ、來着した第七署李警士以下三名は賊を急追し、審海驛前廣場に追ひつめ遂にこれを射殺した

村川部隊 十二名負傷

【吉林國通】村川〇隊は十六日午前九時頃張芝營（三道溝北方八キロ）で有力なる共匪と激戰中、敵の手榴彈のため十二名の負傷者を出したが奮戰、死傷數十名に上る大打擊を與へ敵を潰走せしめた

南滿洲醫學會 新京支部例會 演者と演題

既報南滿洲醫學會新京支部第百三回例會の講演者並に演題は左の通りである

滿鐵沿線邦人女生徒の初經に關する調査並にその發育―尾崎吉助氏▲神經性鼻出血に就て―西垣雄太郎氏▲小兒赤痢、疫痢及腸炎患者にヒマシ油を使用するの可否―田中貢氏▲北滿に流行せる脾脫疽に就て―森島一郎氏▲昭和八年發生の所謂滿洲チブスの新京市內における流行學的調査―前野哲夫氏高橋權三郎氏、尾崎吉助氏▲流行性腦炎後のパルキンソニスムスの一例―藤生達雄氏▲胸膜炎に就ての觀察―原田豐氏

小賣物價指數 昭和五年來の新高値

【東京國通】日銀調査小賣指數は昭和五年九月以來の新高値で前月より九厘高一四九、四查定百品で騰貴二十五品、低落十一品である

居住消息

▲原田藤太郎氏（愛知縣）范家屯から花園町三丁目三十六號ノ四へ▲池岡常作氏（山口縣）祝町五丁目十四番地へ▲相澤貞雄氏（東京府）撫順から高砂町四丁目二番地へ▲小岩周次氏（愛知縣）永樂町三丁目二十二番地へ▲田村仙定氏（東京府）錦町四丁目二十三番地へ▲青山忠雄氏（青森縣）永樂町三丁目十五番地三部方へ▲平井忠廣氏（長崎縣）中央通り二十二番地松山方へ▲森本政良氏（德島縣）大連から吉野町一丁目六番地田邊方へ▲湯村齊氏（廣島縣）羽衣町三丁目十六番地ノ一號下村方へ▲丸山泰造氏（宮城縣）范家屯から花園町三丁目四十九番地ノ一へ▲土屋高一氏（廣島縣）入船町二丁目二十九番地へ

轉居

▲湯田喜助氏羽衣町から露月町三丁目五十六番地ノ四へ▲永島萬吉氏彌生町から羽衣町一丁目二番地ノ一矢野方へ▲尾立米喜氏中央通りから清和街百二番地ノBへ▲小原一二三氏北門街から住吉町一丁目十八番地へ▲岡正氏三笠町から入船町二丁目三番地へ

▲木村寬治氏（中央通り四番地）次男鑑さん十四日出生▲阿部作次郎氏（入船町二丁目二十一番地藤田方）十九日午後九時五十分死亡

事變回顧（下）

十河榮忠

かくて南嶺は最初の思惑通り三十六門の野砲を一發も發射する隙を與へず完全に目的を達したが敵は肉迫する我軍を平射砲、迫撃砲、小銃、機關銃で邀へ撃ち我に尠なからぬ損害を與へ十九日午後二時頃敵は漸次退却開始し戰局は一段落を告げた、寛城子は攻撃開始と共に鹿野少佐が公安局長を介して武裝解除を行はうとしたが、堰を切つた水が氾濫する如く展開して行つた戰局は收拾すべくもなく、遂に戰の後午前十一時十分敵營を占領日章旗を飜へし、捕虜鹵獲品は附屬地に送り僅かの警備兵を駐めて聯隊の主力は南嶺攻略參加に聯隊長以下行動を起してゐる途中南嶺は陷落したのであつた

▽……△

それより前に松川中隊長の指揮する一隊は長春城內に在る支那兵の武裝解除に出動したのは午後三時四十五分頃だつた、この時は既に南嶺も寛城子も皇軍の手に歸したのが知れ渡つてゐるので案外たやすく事が運び巡警なども夕刻までにはすつかり形づいてしまつた、この外に電光石火的に敵の通信機關の破壞作業が遂行される、それから特筆すべきは長春警察署員、在鄉軍人健兒團、靑年訓練所生の大活躍を始め銃後の奉仕はたいしたものであつた、長春憲兵分隊、長春守備隊、長春衛戍病院、電信局、長春鐵道關係、地方事務所關係、滿鐵醫院關係、市民會關係その他全くの長春總動員であつた、又かくれたところに偉大な貢獻をしたのは自動交換の電話であつた前月の一日に一齊に開通し、交換手の手を煩はして居たのではあゝした非常時にはいろいろな事故が起つたであらうに機械力のありがたさ一糸亂れずに接續され敏活な働きをし我軍隊、警察その他利便だつたことは忘られない一つの想出である

▽……△

長谷部旅團長夫人以下多數の婦人團體の傷病兵看護や炊出し、義勇團の戰場掃除手傳ひ戰死者の火葬、傷病兵の運搬など全在留民の一致協力の力は大したものであつた、留守隊長の萬一の場合を慮つて在留民引揚の準備、引揚不可能の場合は四聯隊の營舍、今の關東軍司令部の營內に在留邦人全部を收容保護する準備に兵營外は鐵條網が張られる、土嚢を積み上げる飲料水の心配田中守備隊長は長營內の凹いもの全部に水を貯へろと石油の明罐、洗面器、風呂槽にまでドシドシ水を溜めさせたものだつた、それから戰線は全滿に擴大し、次から次へ展開し長春へは第二師團の精鋭が集中して來る、吉林へ、哈爾賓へと勇躍して進んで行き長春はその中心地となつたので大騷ぎ

▽……△

殊に旅團司令部から臨時飛行場設營必要につき至急準備すべしとの指令に接した地方事務所では苦力一千名を集めてその準備にとりかゝらせやうとして歳か苦力がすつかり逃げてしまひ僅かに七十名しか集まらないといふ始末、そこで旅團副官が商業學校長に相談をもちかけたところ、一も二もなく全校四百の生徒が勇躍これに應じ教員が先頭で丈餘に余る高粱の引きぬき作業を始めた、下級生には痛々しい少年も多かつた、そのうちに義勇團の一部が馳せ參じ自ら作業に從事した、狩り集めた苦力の指揮に任ずる、翌二十一日には室町西廣場兩小學校の兒童までが出かけて來て應援し營々と働く様は、日本少年の健氣な意氣を示したものであつた

滿洲事變記念日に於ける思ひ浮ぶ感想

立法院長　趙欣伯（在東京）

本日は我が滿洲事變三周年記念の佳辰にして亦卽ち我が大滿洲帝國の滿洲に於ける復興の嚆矢の日と云ふべし、凡て我が國人は如何に相慶賀し相歡舞することならん、惟ふに我が滿洲は軍閥の盤踞以來內に於ては暴斂、貪慾、誅求已む所なく外に於ては信義を無視し隣邦を仇視し甚だしきは喪心病狂の勢を以て排日、侮米、抗日を高唱し萬事顚倒して其の勢恰も怒濤奔流の如く停止する所を知らず、遂に抗日の具體的計畫を實行し之を起因として遂に九月十八日の事變爆發したるなり、事變當時に際し省內の當局者は悉く逃避したり、依て百政停頓狀態を呈し秩序騷然として鎭靜せず、此の時幸にして友邦の人士及び關東軍部各要人は誠懇なる毅力を以て或は補助或は籌策し先づ地方維持會を組織することを議し之を以て整理の任に當らしめ續いて市省兩署及び各廳の恢復を計り依つて以て政御法規を繼續したり、且つ又行政に對し熱烈なる助力を與へ防禦救濟等の要務に努力し地方の秩序は始めて漸く舊觀に復せり

事變當時を顧れば友邦日本は滿洲政權の建設に對し寸毫の干涉を爲さず、滿洲民衆の動機に顧し深く同情を表したり而して日本朝野一致の援助を受け直接間接を問はず積極的に斡旋せざる所無く或は智力を盡して寢食を廢し或は四方へ飛航して休む暇無く、或は各地を奔走して遠方へ赴き以て我が新國家の成立を補助して苦心慘憺至らざる所無かりき然るに民衆が建國の公議を開催するに際し、反滿分子、義勇軍及盜匪の如きは至る所に騷擾を逞しうし、陰謀破壞各地に滿ち阻害の策は擅に企圖せられたり、斯の如き危難は皆日本友軍の英勇壯烈と絕大なる犧牲を拂ひ不良分子の蕩を期すべく或は防衞に從事し或は勦滅の道を講じたり依て滿洲の治安維持せられ地方の秩序保たれ我が邦基是に於て鞏固となれり之れ悉く日本朝野の義助と關東軍部及び各界の努力に依るなり

滿洲を以て國號と爲し新國家を建立して民と共に更始を計り並に往時日本との親密關係を顧みて相依り相助けて永年東亞の平和を維持せらるることは我が日滿兩國人の忘るべからざる所なり、況んや我が東洋民族の精神は元より天地乃親を以て至尊と爲し忠孝節義を以て人倫と爲すに於てをや、是れ東洋民族が他の民族精神と同じからざる所以なり我が東洋民族は宜しく固有の精神に基き昔の明訓を恪守し異說を信ぜずして勇往邁進して、唐虞の盛治が再び今日に於て見らるる樣努力すべきなり而して我が固有の精神文化は特に之を貴ぶべきのみならず實に世界全人類の幸福を共り得ることを解せざるべからず日本帝國の憲法は其の內容を觀察するに卽ち固有の精神を以て一貫の組織と爲し其の今日の盛況に達したるは悉く其の忠君愛國、武士道の精神に依るものにして歐米より輸入せる文明とは何等の交渉をも有せざるなり、其の憲法第一章には先づ萬世一系の天皇之を統治すと之を以て建國精神と爲し又日本國民の精神をもつて茲に重點を置き其の皇室に對する忠誠は實に我が國民の師表となすべき所にして吾人の宜しく學ぶべき點なり

我が滿洲帝國は建元以來憲法の制定は勿論萬世一系を以て本と爲し其の君民相依るの關係は終始一の如く皇祚一系は萬世に至るも變る所なし、而して我が東洋民族の固有の忠君愛國の眞精神を我が兩帝國に依つて十分發揚し彼の皇家典範に關する一切の問題などは本朝の先例を以て例と爲し舊臣の意見を尊重すべきなり余は目下資料調査に從事し遠からずして一の供獻あらんとする所にして當分の內は具體的意見を述ぶることを得ず茲に滿洲事變記念日に於ける感想として數言を列ね、冀くば日滿賢達の諸士幸に明鑒を賜らんことを（以上）

海の外から

密輸監視の武裝ラヂオ附ボート現る

米政府では密輸を監視する從來の武裝ボートが速力上、完全な役目を達することが出來ないとあつて今度、時速六〇哩のモーターボートを汽船入港各所に移動活躍せしむることとなつた、而して艇內には超電波利用のラヂオをも設備し目的達成に萬遺漏なきを企圖してゐる

英の新銳機

海岸警備の任に就く

嘗て英本國―シンガポール間二萬三千哩を飛んで偉大な性能を發揮した飛行艇、サウザムプトン號は近く英國海岸警備の任に就くこととなつた、同機はロールスロイ製新式發動機二台を備へてゐる新銳機である

四〇ポンドの空氣が四晝夜腹に納まる

―米國はオクラホマ市に住むハッペル（君）三七は人間チューブの綽名をもつてゐる、ポンプを利用空氣をチューブで吸ひ込むと彼の腹部は四〇吋も膨大し約四〇ポンド以上の空氣がヘソもなくお腹に充滿する而して此の空氣を四晝夜も持ち耐へ、吐出す時は奇妙な音を發すると

新聞紙許りで家屋、什器を拵へる

獨乙のハンブルグに今度新聞許りで出來た家屋が現れた―靑年獨乙技師ケルマン氏（二九）の創設によるもので机寢台家具什器も追ひ込みで目下彼の國の新聞紙上を此の記事で賑はしてゐる

第二次秋競馬 第三日成績

第三日九月十九日（木曜日）

第一競馬（五頭）（一）快力

……

ラヂオ

二十一日（金曜）新京放送

……

六、二〇 ラヂオ體操（滿語）

六、四〇 講師 高宮

七、〇〇（奉天より）日語講座

七、二〇 ニュース（日語）

八、〇五（東京より）經濟市況

一〇、四〇（東京より）（臨時）經濟市況

一〇、五九 時報、レコード

一一、一〇 ニュース（滿語）

一一、四〇（東京より）ニュース

午後の部

〇、〇五 經濟市況

〇、二〇 ニュース（鮮語）

〇、三〇 演藝、レコード（滿語）

一、〇〇 演藝（滿語）東群仙 云

一、三〇 講演（滿語）實業部權度局 錢 字 璽

二、〇〇 日用品値段（滿語）

二、四五 ニュース（日語）

二、五〇 ニュース（日語）

三、二〇 ニュース（東京より）

三、三〇（奉天より）經濟市況

四、五〇 官廳ニュース（滿語）

五、〇〇 ニュース（英語）

五、三〇 子供の時間（哈爾賓より）

六、〇〇 講演（滿語）（奉天より）

六、三〇 氣象通報

六、五五 番組豫告 ニュース（滿語）

七、〇〇（東京より）講演 滿洲に於けるカトリック教 ローマ敎王代理司長 田口芳太郎

七、三〇 獨唱 マルザリヤ チマクテイ

八、〇〇 時報、ニュース（東京高等女學校より中繼）

九、〇〇 演藝（滿語）新春院 金 香 ニュース（滿語）

新刊紹介

婦人倶樂部 十月號

◇秋の特大號婦人倶樂部は五百三十四頁といふ尨大なものに「流行新型編物全集」二冊一組「基礎編み模樣編み全書を含めてそれに漫畫本「凸凹黑兵衛」といふ勉強ぶりです、特價七十錢もむしろ安過ぎる觀があります

◇中でも附錄の編物全集は秋から多へかけて、流行の絕頂に向ふ編み物に、一つの目標を與へたもので、シックなもの、實用向なもの、萬人向なもの、すべてを網羅した豪華版です

◇基礎編み模樣編みも、種類は仲々多く、モダンな型も澤山出てゐます、說明の方も頗るつきの懇切叮嚀、編み物ではこの二冊一組、何處から見ても超特ものです

◇本誌の內容も、今月は萬人の意表に出た名品ぞろひ、「結婚式から披露まで一切の心得書集」と相並んで理容界の元老、大場靜子さん指導の「お化粧と着附實演」「東西名作詩物語」でまづ讀者の眼を奪ひ

◇續いて「賀川豐彥氏夫人三姉妹血淚秘話」「母と娘の結婚ばなし相談會」「毛皮一枚千圓、淺間の銀狐村を訪ねて」「放蕩の夫を我手に引戾した淚の手記」「女手で商賣に成功した人々の座談會」等々の訪問記、中間物座談會にも多士濟々

◇家庭記事では「遠足に喜ばれるお辨當料理八種」をはじめこゝは本誌の獨壇場だけに、斷然他誌に讓らぬ健鬪ぶりしかも特選の讀切傑作では評判の日活映畫「愛憎峠」物語―川口松太郎、をはじめ「菊六師の純情小說「哀愁」など、讀みついた讀者は一人だつて逃さぬといふ意氣込です

空腹時にみづおちが痛む

……

痛み方で異る胃腸病の獨り診斷

みづおちの痛みは急性胃カタルか胃酸過多症に多く、食後に痛むのは胃潰瘍の特徵、胃癌の痛みはさほど強くはありません

胃腸病は日本人に特に多く、その死亡率は、他の病氣の數倍にも達してゐますが、自分に現れた容態で凡そ、之は何病だな―と見當をつけるだけの知識があれば

早く、適當な手當が出來て

危險も自然と防げる譯です。さて胃腸病は大抵痛みが起り、其の樣子が、病氣によつて夫々違つてゐますから、痛み具合によく注意すれば、大體何病であるかを知ることが出來ます。

みづおちは胃のある處ですから、其處が痛めば大槪胃の痛みと思つて差支ないが、時として心臟病や肋膜炎等の時にもみづおちの痛む事があるので、病名を知るには、他の症狀も考慮しなければなりません。

……

なると、痛みを感じても、左程烈しくないのが通例です。また食後に膨滿を感じて、胃が重苦しく痛む胃弱はよく嘔吐を催します。胃擴張、胃下垂も食後に之とよく似た容態を現しますが、胃擴張は胃弱よりは一般に容態がひどく、胃下垂には嘔氣がないので夫と分ります。

之らの胃腸病の手當としては、最近新生物劑「若素」といふ新生物製劑の服用が推奬されます。即ち、此の藥は在來の對症的化學藥劑と違つて、胃腸の衰弱細胞に活力を與へて、損傷を整備し、其の機能を健全に還らしめる酵性酵素や食慾素といはれるインシュリン或はヴイタミン等を豐富に含

傳染病流行と胃腸衛生

……

美と若さを奪ふ『腸自家中毒の話』

素晴らしい美女體を擁して、世界一の美しいレヴュー團といはれる「フオーリー座」の支配人ジイ

皮膚の艶があせ

小皺が寄つて、年にも似ぬ、老人臭い容貌になるのです。

細菌の養育場で

……

胃腸病の「この苦痛を」

（大阪）三宮武夫

……

日本の聖女（ニッポンのマリヤ）

（禁上演上映）

生田葵

南部龍平畫

二二 鞍馬口の物捕（七）

表戸をこはして居るとり手へと一緒に打放したのが、まだ其處に立つて居るお定の耳に聞かれた。

お定は不圖心付いて、押入れにあれ、あるじゝ丸や何や[illegible]を入れた箱を取出して居ると吉兵衛が再び引かへして來て、

「おい、今そいつを取に來たんだ。とり手の奴等おい等の姿を見ると、猫に追はれるねずみのやうに、すばやく逃げて了ひやがる。あはゝゝゝ」

[illegible]な笑ひ聲を立てゝ、お定が取り出した彈藥をかゝへ上げて二階の方へ行きかけた。

お定は何かしら今一度呼止めて話したい衝動に驅られはしたが、[illegible]、女々しい擧動と思はれるのが恥づかしく、叱られるやもしれないので、だまつてその後姿を見送つて居ると、吉兵衛は二階の上り口で、今一度お定の方をふりかへり。

「お國々々せずと、早く穴藏へ這入つて居ろ。俺等が二階からおりて、對手の方へ向つて往つた時に出るんだぞ」

[illegible]しい語調ではあつたが慎は能つて居た。

吉兵衛がトントンと荒々しい足音で二階へ登つて行くのを聞き澄ましてから、お定は次の間へ行き、穴藏へ通ふ板仕切を上げたが、すつぽりとその中へ姿が隱せると、板仕切りは以前通りの容態にかへつて、其處にそんなかくれ場所があらうなどゝ思ひやうはなかつた。

二階へ吉兵衛が上つて行くと、[illegible]手の窓口から屋根へ出た、捕手を[illegible]かけて瓦を投げ附けて居た子分は逸早く見つけて、

「四十人程の捕手ですぞ。それから口の田圃の方にも二、三人は控へて居りませう」

子分の一人は云つた。

「あんまり捕手の方へ姿を見せるなよ。彼奴等、鉄砲を捕へた時のやうに、矢をもつて居るに違ひ無いんだが、まだ射出して來ないか」

吉兵衛は落着いたものゝ云ひやうをした。

「三本ばかりうち出して來ましただが、まだ誰か居るんですかい」

その子分はこたへた。

「親分、階下には誰が居るんですかい」

子分の梅之助がきいた。

「誰も居やしない。家をきりぎりす籠にされちやふせぎはつき難らあ、それよりも二階から此處で狙ひうちだ」

吉兵衛はニッコリ笑つて、手にした短銃を子分の鼻先で振廻し、

「たまはまだ卅發位ある。大丈夫此の縁外へ一同で押出した處で彼奴等そばへ寄つて來るものぢやない。いゝ加減此處でふせぎをつけたら、一同で押出してゆくことだぞ」

「承知しやした。一同にさつきから折角拔いて居る刀の用ひ場がないので、押出したものだと云つて居るので御座います」

梅之助が云ふのであつた。

「御用だ、御用だ、御用だ」

突然に寄りの裏口の方で騒々しい聲が上つた。

「はてな。裏口にとり手が廻つていつたとして、あの聲は何うしたこつた。身内の誰れかゞ此處を目指して裏手の家から這入らうとした所を見付けられたかな」

吉兵衛は裏口の御用呼ばりの聲に耳を傾けた。

「梅之助兄いか兵太兄いかの何方でせうね」

子分の一人が、氣遣はしげに云つた。

○……

○……

○……